



Dell™ 7700FullHD プロジェクタ
取扱説明書

メモ、注意、警告

 **メモ**：「メモ」は、コンピュータの使用に際して役立つ重要な情報です。

 **注意**：「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。

 **警告**：「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2012 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標： *Dell* および *DELL* ロゴは Dell Inc. の商標です。 *DLP* および *DLP* ロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。 *Microsoft* および *Windows* は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

7700FullHD モデル

2012 年 3 月 Rev. A00

目次

1	プロジェクタについて	7
	プロジェクタについて	8
2	プロジェクタの接続	10
	オプションのワイヤレスドングルの取り付け	11
	コンピュータへの接続	12
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続	12
	VGA ケーブルを使用してループする接続を モニターしてください	13
	RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続	14
	USB ケーブルでコンピュータに接続する	15
	ワイヤレスドングル（オプション）を使った コンピュータの接続	16
	DVD プレーヤーの接続	17
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤー の接続	17
	コンジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	18
	コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	19
	3RCA コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	20
	HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	21
	LAN（構内通信網）への接続	22

画像を投射し、RJ45 ケーブルを通して ネットワークに接続されたプロジェクタを 制御します。	22
プロフェッショナル向け取り付けオプション： ドライビング自動スクリーンの取り付け	23
商用 RS232 コントロールボックスの接続	24
3 プロジェクタの使用法	25
プロジェクタの電源を入れる	25
プロジェクタの電源を切る	25
投影画像の調整	26
プロジェクタの高さを上げる	26
プロジェクタの高さを下げる	26
プロジェクタのズームとフォーカスの調整	27
投影画像サイズの調整	28
コントロールパネルの使用法	30
リモコンの使用法	32
リモートコントロールバッテリーの取り付け	35
リモコンの動作範囲	36
オンスクリーンディスプレイの使用法	37
入力ソース	37
自動調整	38
輝度 / 明度差	39
ビデオモード	39
ボリューム	40
オーディオ入力	40

詳細設定	40
言語	54
ヘルプ	54
ワイヤレスネットワーキングのインストール . . .	55
プロジェクタのワイヤレスを有効にする . . .	56
コンピュータにワイヤレスアプリケーション ソフトウェアをインストールする	58
ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを 起動する	61
Presentation to Go (PtG) のインストール	65
PtG ビューア	66
写真ビューア	66
PtG/ 写真機能の概要	67
PtG 概要	67
写真概要	68
ボタンの概要	68
コンピュータに PtG Converter アプリケーション ソフトウェアをインストールする	69
PtG Converter を使用する	70
オーディオ投射のインストール	71
プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を 有効にする	72
コンピュータにワイヤレスアプリケーション ソフトウェアをインストールする	73
ワイヤレスアプリケーションの起動	74
ログイン	75
ビデオストリームのインストール	76
ビデオストリームのサポート形式	76
プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効に する	77

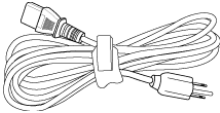
	コンピュータにワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする	77
	ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを起動する	77
	ログイン	77
	Web 管理からプロジェクトの管理	78
	ネットワークセットアップの設定	78
	Web 管理にアクセスする	78
	アプリケーショントークンの作成	99
4	プロジェクトのトラブルシューティング	101
	ガイド信号	105
	ランプの交換	106
5	仕様	108
6	Dell へのお問い合わせ	115
7	付録：用語集	116

プロジェクタについて

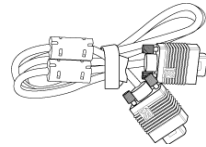
このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell™ にご連絡ください。

同梱されているもの

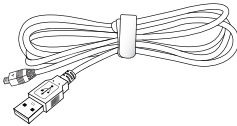
電源ケーブル



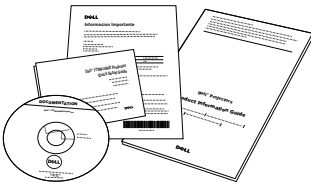
1.8 m VGA ケーブル (VGA - VGA)



1.8m USB ケーブル (USB-A - USB-B) リモコン

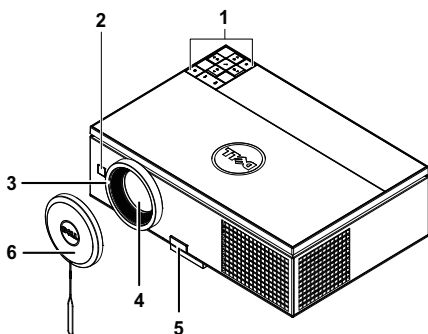


CD ユーザーガイドおよびドキュメント 単 4 電池 (2)

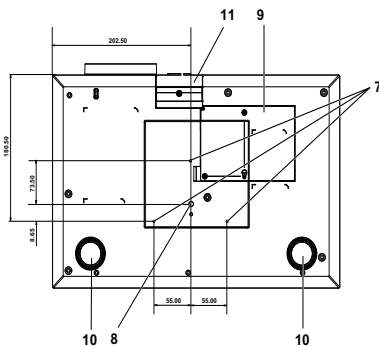


プロジェクタについて

上方図



底面図



1	コントロールパネル
2	IR レシーバ
3	フォーカスリング
4	レンズ
5	エレベータボタン（高さ調整用）
6	レンズキャップ
7	取付ホール（天吊り用）ねじ穴 M3 x 6.5 mm 深度。推奨トルク <8 kgf-cm
8	取付ホール（三脚用）：インサートナット 1/4"×20 UNC
9	ランプカバー
10	傾斜調整ホイール
11	エレベーターフット

△ 注意：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発生するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。

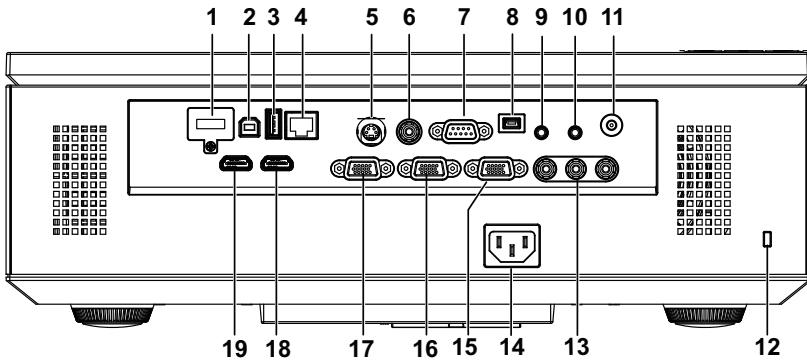
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 心臓ペースメーカーの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 10 医療機器の傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 11 電子レンジの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。



メモ：

- お客様自身でこのプロジェクタの天井取り付けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ天井取り付けキット (P/N:C3505)。詳細については、Dell サポート Web サイト (support.dell.com) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する **安全情報** を参照してください。
- 7700FullHD プロジェクタは室内専用です。

プロジェクタの接続



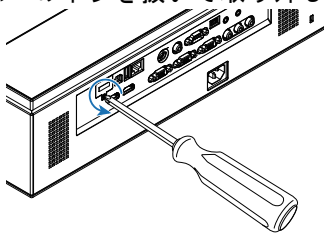
1	WiFi USB (タイプ A) コネクタ	11	+12 V DC アウトコネクタ
2	USB ディスプレイ用 UDB タイプ B コネクタ	12	セキュリティケーブルスロット
3	USB ビューア用 UDB タイプ A コネクタ	13	コンポーネントビデオ入力コネクタ
4	RJ45 コネクタ	14	電源コードコネクタ
5	S ビデオコネクタ	15	VGA-A 出力 (モニターループスルー) コネクタ
6	コンポジットビデオコネクタ	16	VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ
7	RS232 (D サブ) コネクタ	17	VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ
8	ミニ USB (Mini Type B) コネクタ (リモコン用)	18	HDMI-B コネクタ
9	オーディオ出力コネクタ	19	HDMI-A コネクタ
10	オーディオ入力コネクタ		

△ 注意：この章で説明する交換処理の前に、ページ 8 にある「安全上のご注意」をお読みください。

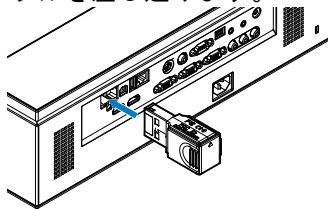
オプションのワイヤレスドングルの取り付け

ワイヤレスネットワークオプションを使用する場合、プロジェクトにワイヤレスドングルを取り付ける必要があります。55 ページの「ワイヤレスネットワーキングのインストール」を参照してください。ワイヤレスドングルは、本プロジェクトに付属していません。Dell Web サイト www.dell.com でご購入いただけます。

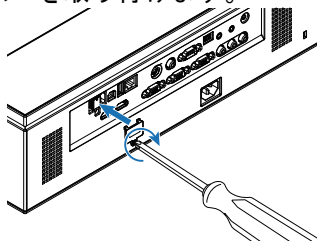
- 1 ワイヤレスカバーのネジを抜いて取り外します。



- 2 ワイヤレスドングルを差し込みます。

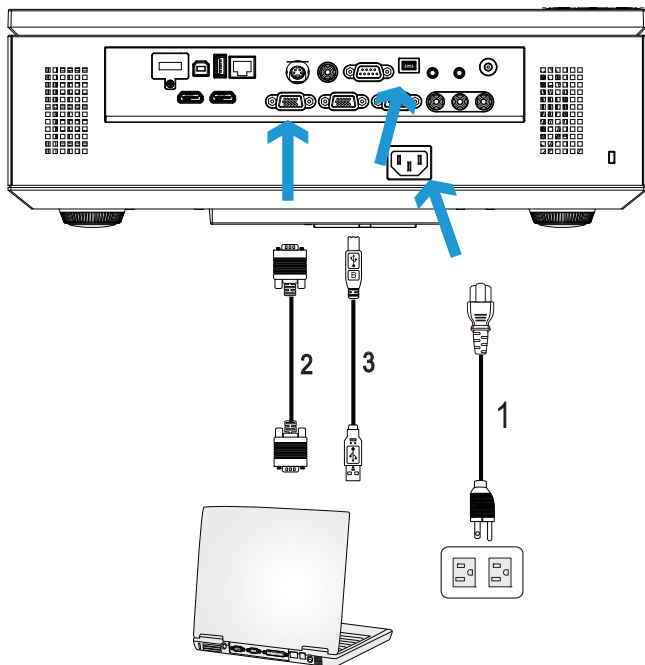


- 3 ワイヤレスカバーを取り付けます。





コンピュータへの接続

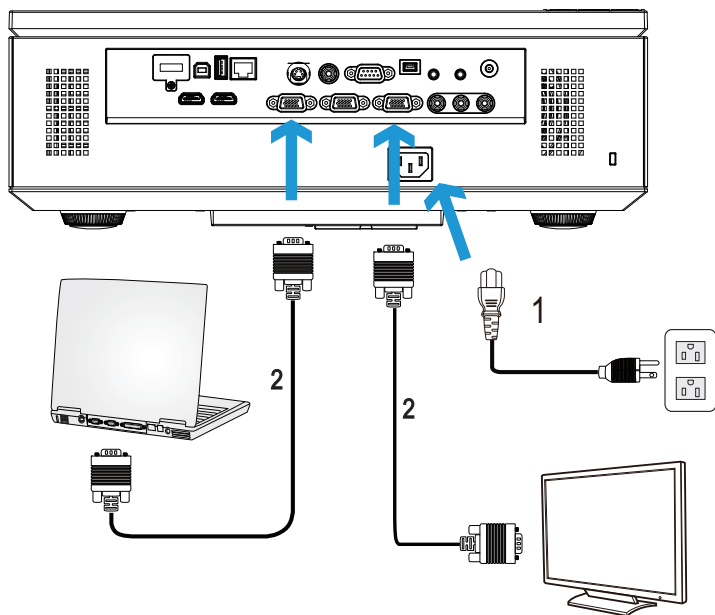
VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB-A - ミニ USB-B ケーブル

-  **メモ：**リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
-  **メモ：**ミニ USB ケーブルは付属していません。Dell Website www.dell.com でミニ USB ケーブルをご購入いただけます。

VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニターしてください

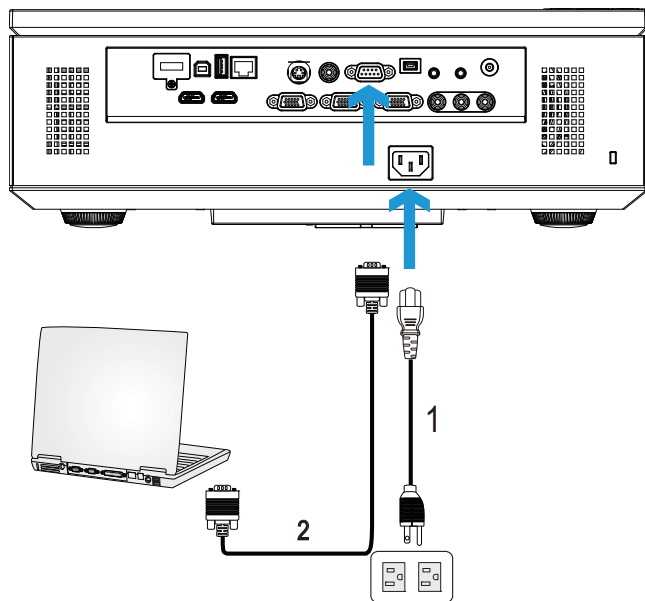


1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル



メモ：プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。
追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続

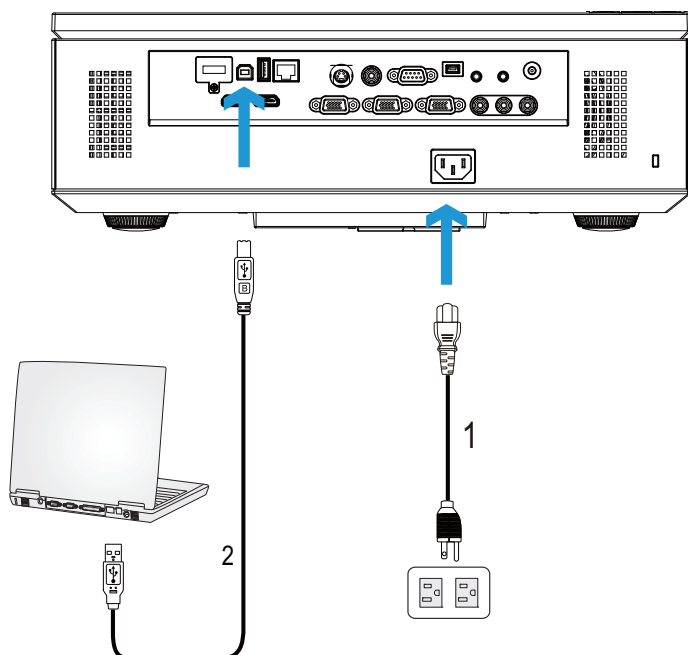


1	電源コード
2	RS232 (9ピンDサブのメス-メスピ ン2-3スワップ) ケーブル



メモ : RS232 (9ピンDサブのメス-メスピ
ン2-3スワップ) ケーブル
は、本プロジェクターには付属していません。ケーブルとRS232リモ
コンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせ
ください。

USB ケーブルでコンピュータに接続する

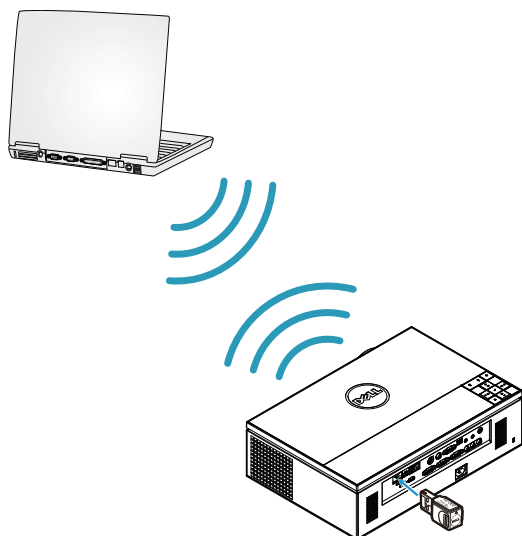




1	電源コード
2	USB-A - USB-B ケーブル



メモ：プラグアンドプレイプロジェクトには USB ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の USB ケーブルは、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

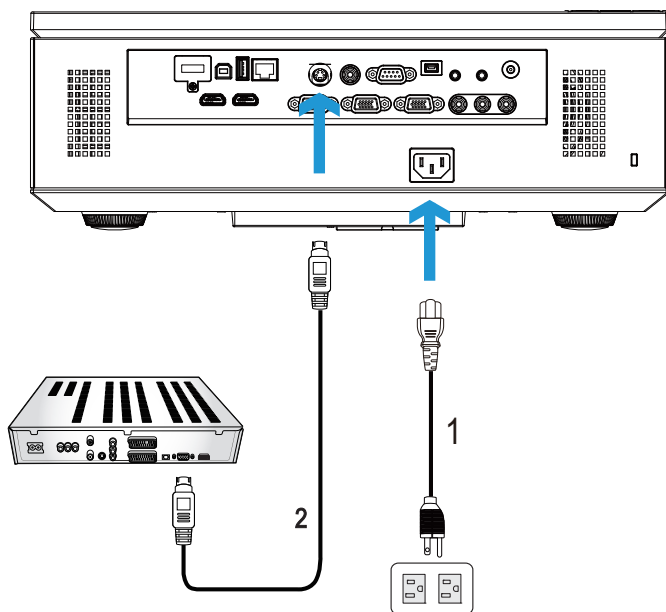
ワイヤレス dongle (オプション) を使ったコンピュータの接続



-  **メモ**：別のワイヤレス接続を検出するには、お使いのコンピュータにワイヤレスコネクタを装備し適切に設定する必要があります。ワイヤレス接続の設定方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。
-  **メモ**：ワイヤレスネットワークを使用する場合、プロジェクタにワイヤレス dongle を取り付ける必要があります。55 ページの「ワイヤレス ネットワーキングのインストール」を参照してください。

DVD プレーヤーの接続

S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

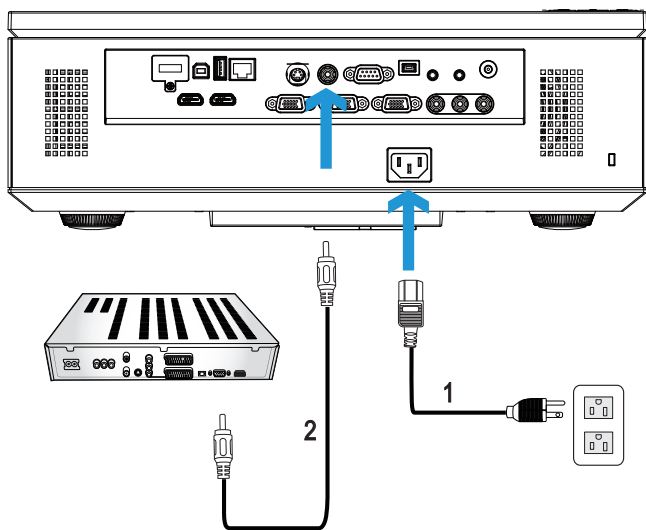


1	電源コード
2	S ビデオケーブル



メモ : S ビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) で S ビデオ延長 (15.24 m/30.48 m) ケーブルをお買い求めいただけます。

コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

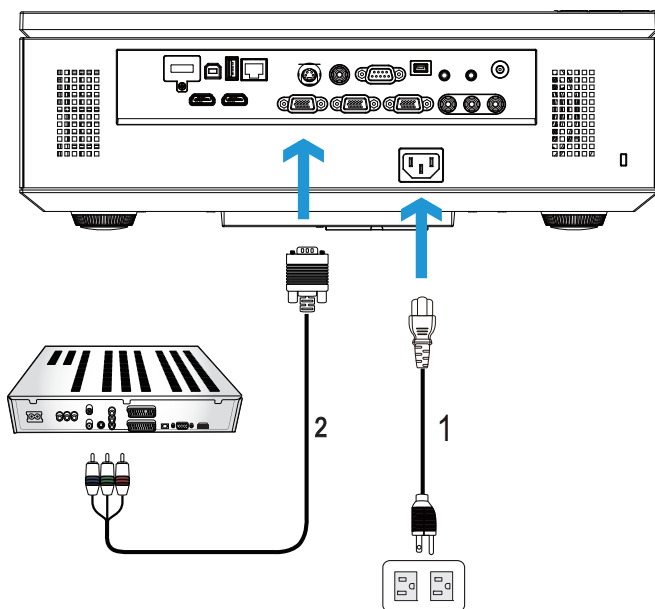


1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル



メモ：コンポジットビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) でコンポジットビデオ延長（15.24 m/30.48 m）ケーブルをお買い求めいただけます。

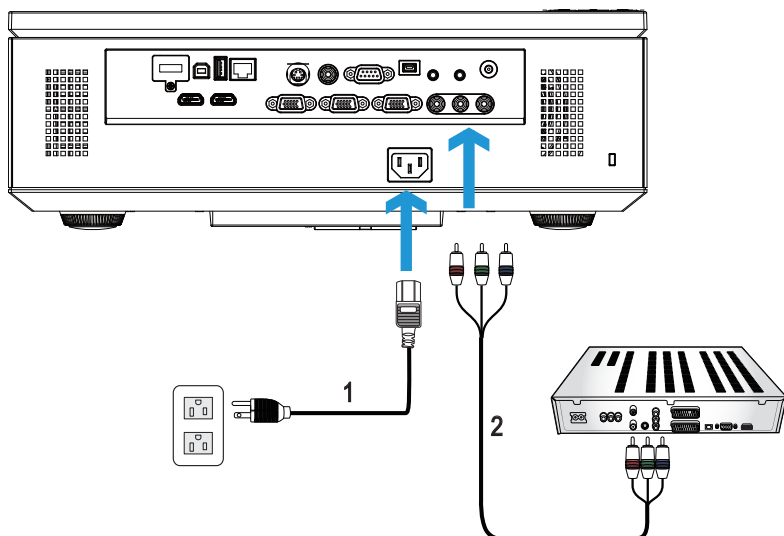
コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	VGA - コンポーネントビデオケーブル

メモ : VGA - コンポーネントビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) で VGA - コンポーネントビデオ延長 (15.24 m/30.48 m) ケーブルをお買い求めいただけます。

3RCA コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

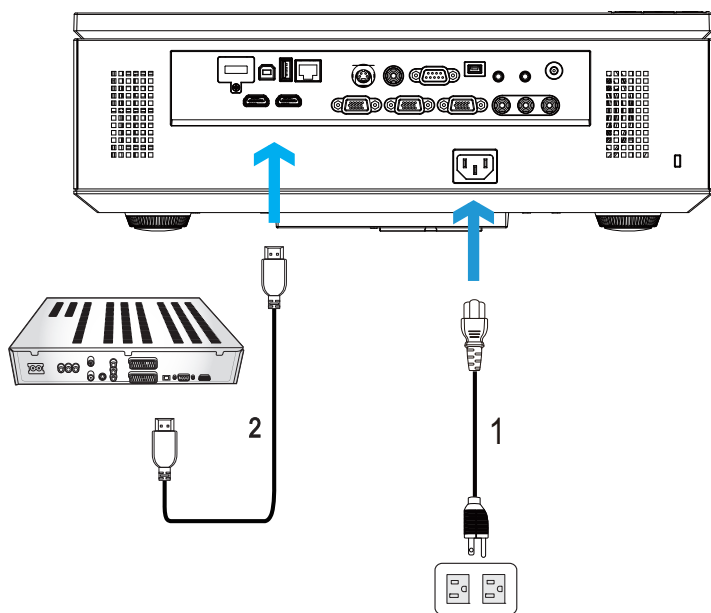


1	電源コード
2	3RCA-3RCA コンポーネントビデオ（オス - オス）ケーブル



メモ：3RCA-3RCA コンポーネントビデオ（オス - オス）ケーブルは、本プロジェクトに付属していません。Dell Web サイト（www.dell.com）で 3RCA -3RCA コンポーネントビデオ（オス-オス）延長ケーブル（15.24m/30.48m）をお買い求めいただけます。

HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



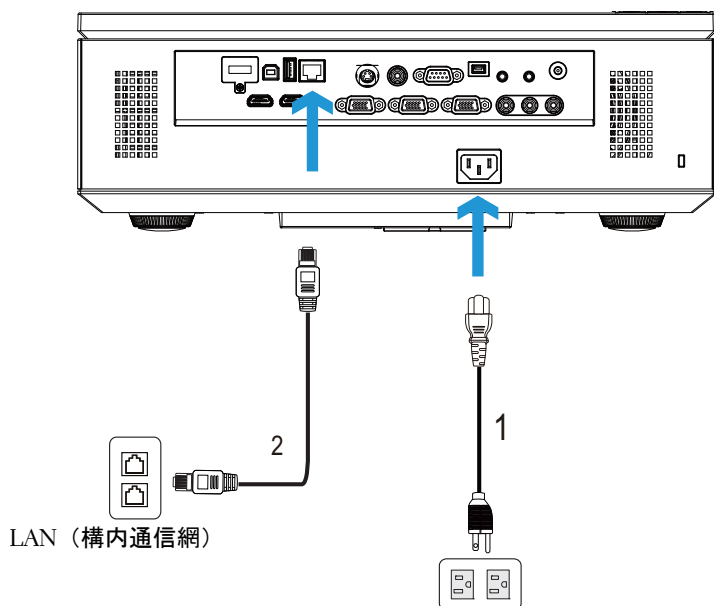
1	電源コード
2	HDMI ケーブル



メモ : HDMI ケーブルは付属していません。Dell Website www.dell.com で HDMI ケーブルをご購入いただけます。

LAN（構内通信網）への接続

画像を投射し、RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続されたプロジェクタを制御します。

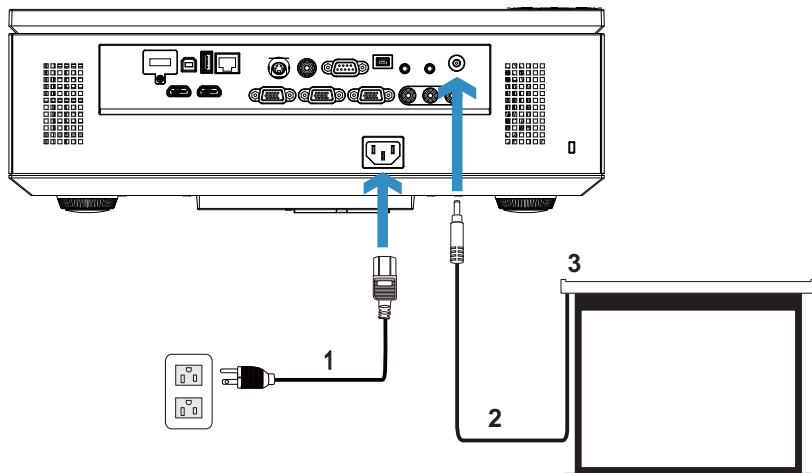


1	電源コード
2	RJ45 ケーブル




メモ：RJ45 ケーブルは付属していません。Dell Website www.dell.com で RJ45 ケーブルをご購入いただけます。

プロフェッショナル向け取り付けオプション：ドライビング自動スクリーンの取り付け



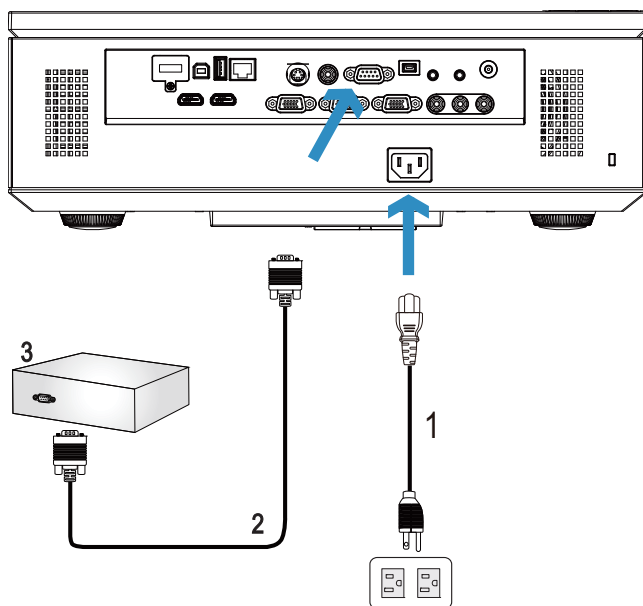
1	電源コード
2	12 V DC プラグ
3	電動式投影画面

 **メモ**：1.7 mm (ID) x 4.00 mm (DD) x 9.5 mm (シャフト) の寸法の 12 V DC プラグインを使って、自動スクリーンをプロジェクタに接続します。

12 V DC プラグ



商用 RS232 コントロールボックスの接続




1	電源コード
2	RS232 (9ピンDサブのメス-メスピ ン2-3 スワップ) ケーブル
3	商用 RS232 コントロールボックス



メモ : RS232 (9ピンDサブのメス-メスピ
ン2-3 スワップ) ケーブル
は、本プロジェクターには付属していません。ケーブルの入手につ
いては、専門技術者にお問い合わせください。


プロジェクタの使用方法

プロジェクタの電源を入れる


 **メモ**：プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。

- 1 レンズキャップを外します。
- 2 電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。プロジェクタの接続については、10 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 3 電源ボタンを押します（電源ボタンの場所については、30 ページの「コントロールパネルの使用方法」を参照してください）。
- 4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。
- 5 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、10 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 6 デフォルトで、入力ソースは VGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 7 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。ソースボタンを確認するには、30 ページの「コントロールパネルの使用方法」と 32 ページの「リモコンの使用方法」を参照してください。

プロジェクタの電源を切る


 **注意**：プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。

 **メモ**：「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします」メッセージが画面に表示されます。メッセージは 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

- 2 電源ボタンを再び押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。

3 素早くプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンがまだ作動している間に電源ボタンを1秒間押し続けます。

 **メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

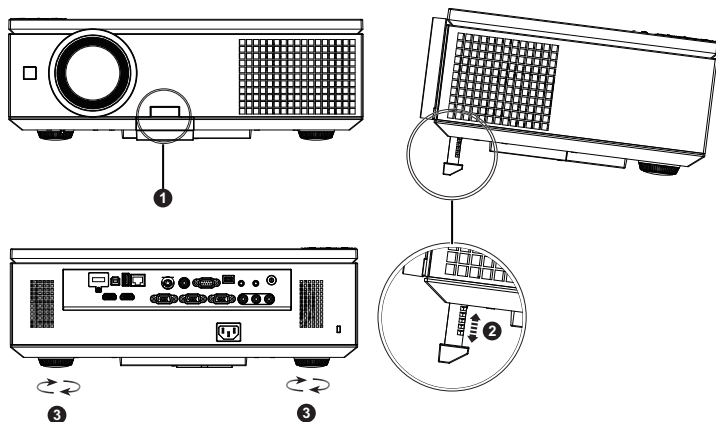
投影画像の調整

プロジェクタの高さを上げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを任意の高さまで上げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。
- 3 傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを下げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。

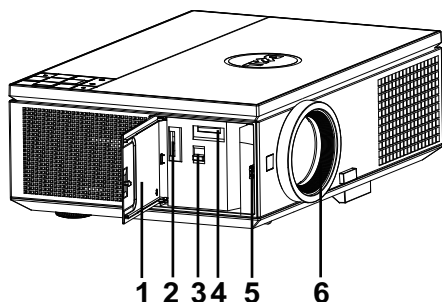


1	エレベーターボタン
2	エレベーターフット (傾きの角度 :0 ~ 8 度)
3	傾斜調整ホイール

プロジェクタのズームとフォーカスの調整

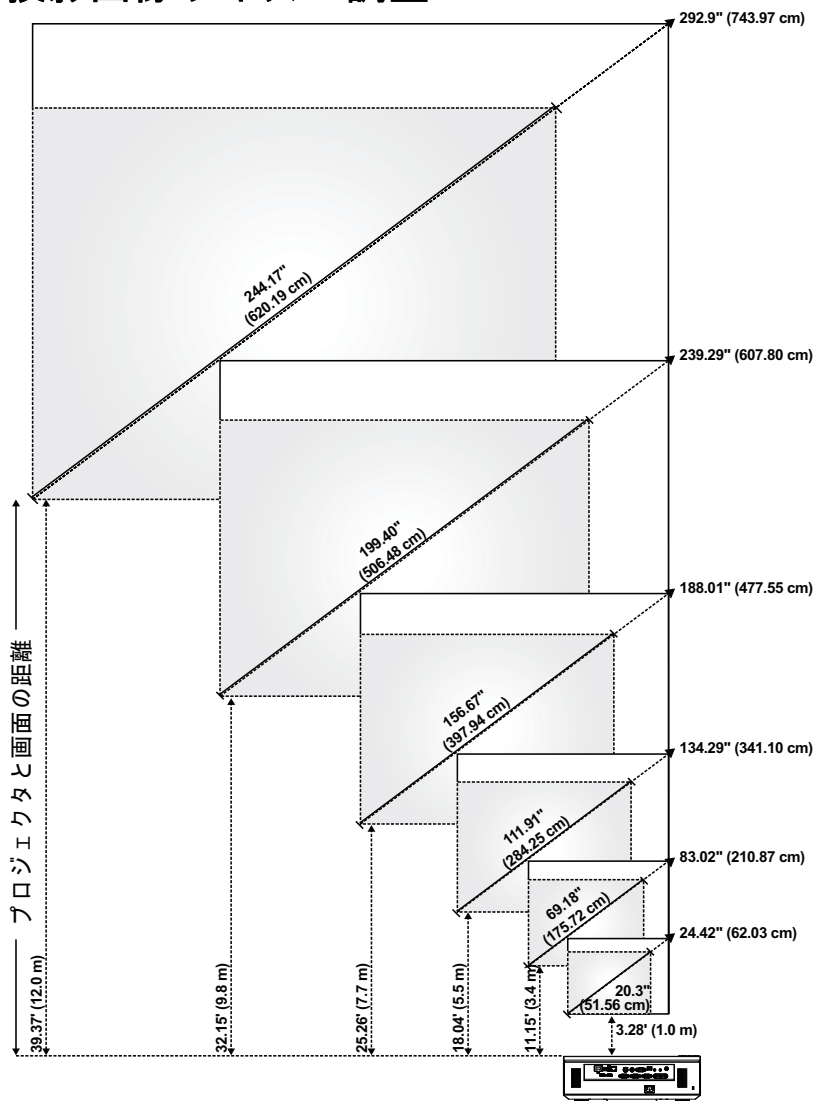
△ **注意**：プロジェクタが破損しないようにするため、プロジェクタを移動する際はサイドドアがしっかりと閉じ、エレベーターフットが完全にしまわれていることを確認します。

- 1 プロジェクタのサイドドアを開きます。
- 2 レンズシフトを調整する前にレンズシフトロックを解除します。
- 3 縦 / 横レンズシフトノブを回してレンズを動かします。
- 4 レンズシフトを調整したら、レンズシフトロックをかけます。
- 5 ズームリング調節を上下に引いて拡大または縮小します。
- 6 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 1.0 m ~ 12.0 m (3.28ft ~ 39.37ft) です。
- 7 プロジェクタのサイドドアを閉じます。

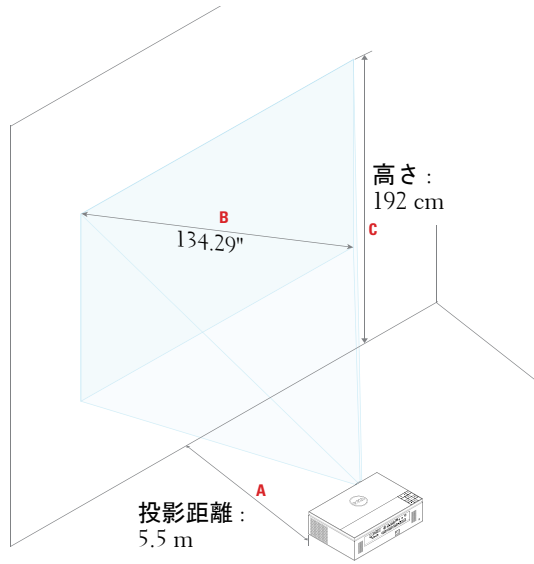


1	サイドドア
2	レンズ垂直シフトノブ
3	レンズシフトロック
4	レンズ水平シフトノブ
5	ズームリング
6	フォーカスリング

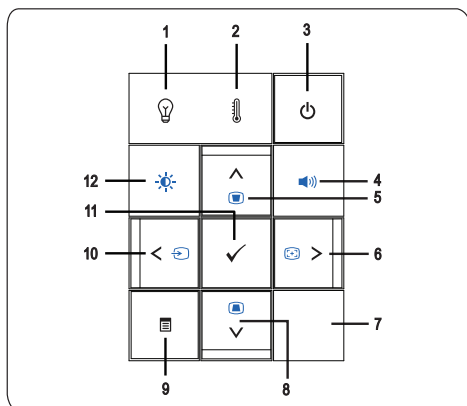
投影画像サイズの調整



必要 距離 (m) <A>	(最小ズーム)			(最大ズーム)		
	画面サイズ		上部	画面サイズ		上部
	対角線 (インチ) 	幅 (cm) x 高さ (cm)	画像の底部 から上部ま で (cm) <C>	対角線 (イ ンチ) 	幅 (cm) x 高さ (cm)	画像の底部 から上部ま で (cm) <C>
1	20.3	45 x 25	29	24.42	54 x 30	35
3.4	69.18	153 x 86	99	83.02	184 x 103	119
5.5	111.91	248 x 139	160	134.29	297 x 167	192
7.7	156.67	347 x 195	224	188.01	416 x 234	269
9.8	199.4	441 x 248	286	239.29	530 x 298	343
12	244.17	541 x 304	350	292.9	649 x 365	420



コントロールパネルの使用方法



1 ランプ警告ライト

ランプの黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因とされます：

- ランプがその耐用年数の終わりに達した
- ランプモジュールを適切に取り付けていない
- ランプドライバが故障している
- カラーホイールが故障している

詳しくは、101 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」および 105 ページの「ガイド信号」を参照してください。

2 温度警告ライト














TEMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因とされます。

- プロジェクタの内部温度が高すぎる
- カラーホイールが故障している

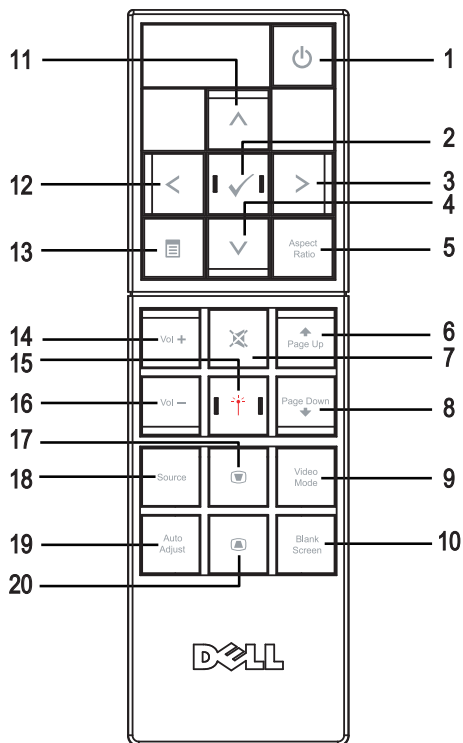
詳しくは、101 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」および 105 ページの「ガイド信号」を参照してください。





3 電源











プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、25 ページの「プロジェクタの電源を入れる」および 25 ページの「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。




4	ボリューム制御 	ボリュームを調節します。
5	上  / キーストーン調整 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/-30度)。
6	右  / 自動調整 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。  メモ： オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は、 自動調整 は作動しません。
7	IR レシーバ	リモコンを IR レシーバに向けてボタンを押します。
8	下  / キーストーン調整 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/-30度)。
9	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。方向キーとメニューボタンで OSD をナビゲートします。
10	左  / ソース 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 複数ソースがプロジェクタに接続されている場合には、このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (VGA 経由 YPbPr)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
11	エンター 	このボタンを押して選択項目を確定します。
12	明るさとコントラスト制御 	明るさおよびコントラスト値を調整します。

リモコンの使用方法




- | | | |
|---|--|---|
| 1 | 電源  | プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、25 ページの「プロジェクタの電源を入れる」および 25 ページの「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。 |
| 2 | エンター  | このボタンを押して選択を確定します。 |
| 3 | 右  | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 |
| 4 | ダウン  | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 |

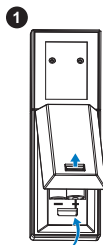
5	縦横比	このボタンを押して、表示された画像の縦横比を変更します。
6	ページ上 	このボタンを押して前のページへ移動します。  メモ ：ページ上機能を使用する場合、ミニUSBケーブルを接続する必要があります。
7	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
8	ページ下 	このボタンを押して次のページへ移動します。  メモ ：ページ下機能を使用する場合、ミニUSBケーブルを接続する必要があります。
9	ビデオモード	プロジェクタには、データ（プレゼンテーションスライド）やビデオ（映画、ゲームなど）の表示に最適なプリセット設定があります。 ビデオモードボタンを押して プレゼンテーションモード 、 明るさモード 、 映画モード 、 sRGB 、または カスタムモード を切り替えます。 ビデオモードボタンを1回押すと、現在のディスプレイモードが表示されます。もう一度 ビデオモード ボタンを押すと、モードが切り替わります。
10	何もうつっていない画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
11	上 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。
12	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。
13	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。
14	ボリュームアップ 	このボタンを押してボリュームを上げます。
15	レーザー	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押し続けてレーザーライトを起動します。  警告 ：レーザーがオンになっている間、レーザーポイントをのぞき込まないでください。レーザー光線を自分の目に向けないでください。

16	ボリュームダウン	このボタンを押してボリュームを下げます。
		
17	キーストーン調整	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/-30 度)。
		
18	ソース	このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI、S ビデオソースを切り替えます。
19	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。
20	キーストーン調整	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/-30 度)。
		

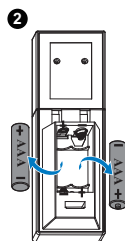
リモートコントロールバッテリーの取り付け

 **メモ**：使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。


1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。

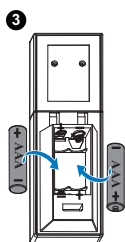


2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。

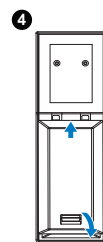


3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。

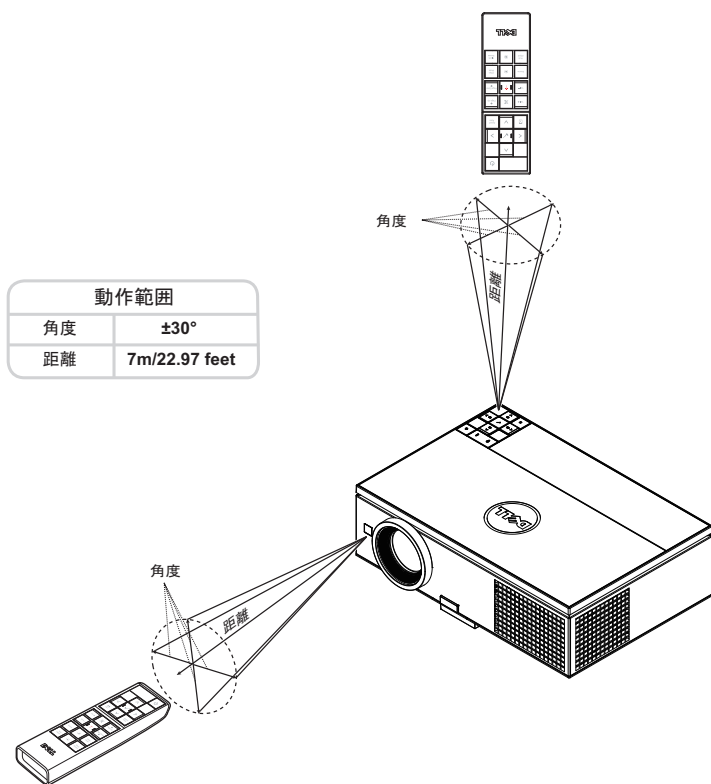
 **メモ**：異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。



4 バッテリーカバーを元に戻します。












リモコンの動作範囲



メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンで 프로젝터를適切に操作できない原因となります。


オンスクリーンディスプレイの使用法

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- コントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを押してメインメニューに入ります。
- メインメニューのタブの間を移動するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  または  ボタンを押します。
- オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  または  ボタンを押します。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- コントロールパネルまたはリモコンの  または  ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、コントロールパネルまたはリモコンの  ボタンを押します。
- OSDを終了するには、コントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを直接おします。

入力ソース

入力ソースメニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。



自動ソース—を押して自動ソースモードをオンまたはオフにします。


VGA-A—を押してVGA-A信号を検出します。

VGA-B—を押してVGA-B信号を検出します。

HDMI-A—を押してHDMI-A信号を検出します。


HDMI-B—を押してHDMI-B信号を検出します。

コンポーネント—を押してRCAコンポーネント信号を検出します。

コンポジット—を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

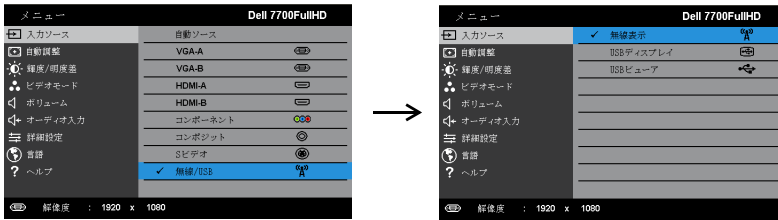
Sビデオ —✓を押してSビデオ信号を検出します。

無線/USB —✓を押して入力ソースの無線/USBメニューを起動します。

 **メモ**：「ワイヤレスとLAN」オプションをオンにすると、無線/USBを使用できるようになります。

入力ソースの無線/USB

入力ソースの無線/USBメニューにより、無線表示、USBディスプレイ、USBビューアを有効にできます。



無線表示 —✓を押してプロジェクタのワイヤレスガイド画面にアクセスします。57ページの「ワイヤレスガイドスクリーン」を参照してください。

USB ディスプレイ —USB ケーブル経由で、プロジェクタにデスクトップ/ノート PC スクリーンを表示します。 .

USB ビューア —USB フラッシュドライブから写真および PPT ファイルを表示できます。65ページの「Presentation to Go (PtG) のインストール」をご覧ください。

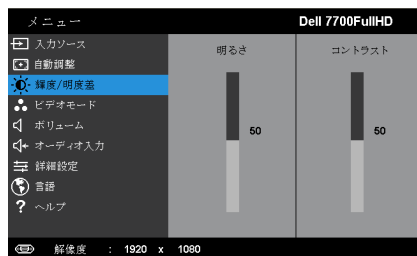
自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの水平、垂直、周波数、トラッキングモードを自動的に調整します。




輝度 / 明度差

輝度 / 明度差メニューにより、プロジェクタの輝度 / 明度差設定を調整できます。



明るさ — や を使って画像の明るさを調整します。

コントラスト — や を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

 **メモ**：明るさおよびコントラストの設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

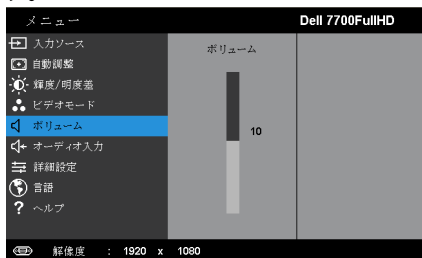
ビデオモード

ビデオモードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB**（より精密な色を提供します）、および**カスタム**（お好みの色を設定します）。



ボリューム

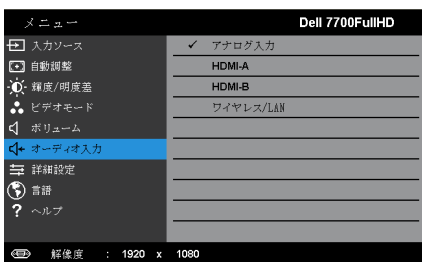
ボリュームメニューにより、プロジェクトのボリューム設定を調整できます。



ボリューム \uparrow を押してボリュームを下げ、 \downarrow を押してボリュームを上げます。

オーディオ入力

オーディオ入力メニューを使ってプロジェクトのオーディオ入力ソースを選択します。オプション：アナログ入力、HDMI-A、HDMI-B、およびワイヤレス/LAN。

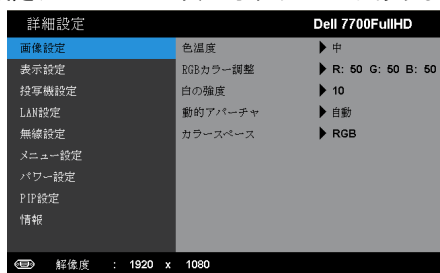


詳細設定

詳細設定メニューでは、画像、表示、投写機、LAN、無線、メニュー、電力使用、PIP、および情報の設定を変更できます。



画像設定（PC モード） —✓を選択して押し、画像設定を起動します。
 画像設定メニューには次のオプションがあります：




色温度 —色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されません。

RGB カラー調整 —赤、緑、青の色を手動で調整します。

白の強度 —✓を押し、とを使用して白の強度を表示します。

動的アパーチャ —プロジェクタの動的アパーチャを設定できます。
 オプション：オフ、動的、と自動。

カラースペース —カラースペースを選択します。オプション：RGB YCbCr、および YPbPr があります。

 **メモ**：色温度、RGB カラー調整および白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

画像設定（ビデオモード） —✓を選択して押し、画像設定を起動します。
 画像設定メニューには次のオプションがあります：



色温度 —色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されません。

RGB カラー調整 —赤、緑、青の色を手動で調整します。

彩度 —ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。を押して画像の色の量を増やし、を押して画像の色の量を減らします。

鮮明度 —を押して鮮明度を上げ、を押して鮮明度を下げます。

色合い —を押して画像の緑色の量を増やし、を押して緑色の量を減らします（NTSC 用にのみ使用可能）。

白の強度 —を押し、とを使用して白の強度を表示します。

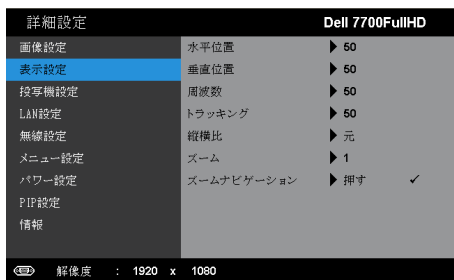
動的アパーチャ —プロジェクトの動的アパーチャを設定できます。オプション：オフ、動的、と自動。

カラースペース —カラースペースを選択します。オプション：RGB YCbCr、および YPbPr があります。

メモ：

- 1 **色温度、RGB カラー調整および彩度、鮮明度、色合い、および白の強度**の設定を調整すると、プロジェクトは自動的にカスタムモードに切り替わります。
- 2 **彩度、鮮明度と色合い**は、入力ソースがコンポーネント、コンポジットまたはSビデオである場合のみ使用可能です。

表示設定 (PC モード) — を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。



水平位置 — を押して画像を右へ移動し、 を押して画像を左へ移動します。

垂直位置 — を押して画像を上へ移動し、 を押して画像を下へ移動します。

周波数 — ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

トラッキング — ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

縦横比 — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:9、と 4:3。

- 元 — 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:9 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。

ズーム — と を押して、画像をズームし表示します。



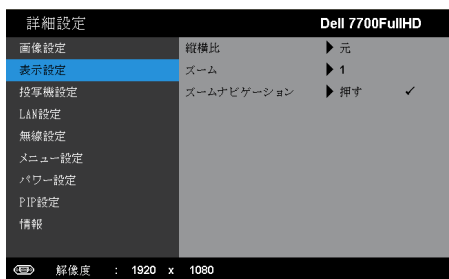
または を押して画像の倍率を調整し、 を押すとリモコンのみで表示します。



ズームナビゲーション — を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

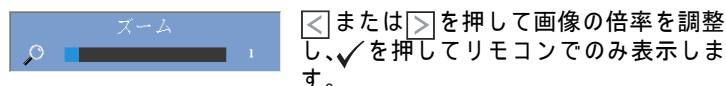
表示設定（ビデオモード） — を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。



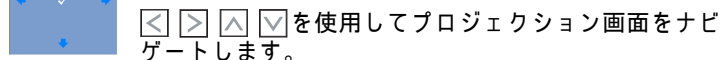
縦横比 — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:9、と 4:3。

- 元 — 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:9 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。

ズーム — と を押して、画像をズームし表示します。



ズームナビゲーション — を押してズームナビゲーションメニューを起動します。



投写機設定 — を選択して押して、投写機設定を起動します。投写機設定メニューには次のオプションがあります。

詳細設定		Dell 7700FullHD
画像設定	自動ソース	▶ オフ
表示設定	自動キーストーン	▶ オフ
投写機設定	水平キーストン	▶ 0
LAN設定	垂直キーストン	▶ 0
無線設定	投影モード	▶ 前面
メニュー設定	スピーカー	▶ オン
パワー設定	クローズドキャプション	▶ オフ
PIP設定	テストボタン	▶ オフ
情報	出荷時にリセット	▶ 押す ✓

解像度 : 1920 x 1080

自動ソース — オフ（デフォルト）を選択して、現在の入力信号をロックします。**自動ソースモード**をオフに設定した状態でソースボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。**オン**を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクタの電源が入った状態でソースボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

自動キーストーン — オン を選択して、プロジェクタを傾けた場合の歪みを自動的に調整します。

水平キーストン — および を使って画像の水平キーストンを調整します。

垂直キーストン — および を使って画像の垂直キーストンを調整します。

投影モード — プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

- リアプロジェクションデスクトップ — プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
- リアプロジェクションシーリングマウント — プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。天井取り付けて透過画面の裏面から投影できます。
- フロントプロジェクションデスクトップ — これは初期設定オプションです。
- フロントプロジェクションシーリングマウント — 天井取り付け - 天井取り付けて投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。





スピーカー — オンを選択してスピーカーを有効にします。オフを選択してスピーカーを無効にします。

クローズドキャプション — オンを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプションオプションの選択：CC1、CC2、CC3、CC4 を選択します。

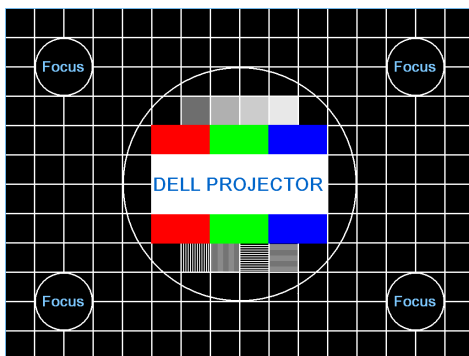
メモ：

- 1 クローズドキャプションのオプションは、NTSC でのみ使用できます。
- 2 クローズドキャプションはSビデオおよびコンポジットビデオ入力からのみ有効にできます。

テストパターン —テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。


オフ、1、または2を選択して**テストパターン**の有効/無効を切り替えることができます。コントロールパネルのとボタンを2秒間同時に押し続けることで、テストパターン1を呼び起こすこともできます。コントロールパネルのとボタンを2秒間同時に押し続けることで、テストパターン2を呼び起こすこともできます。

テストパターン1：



テストパターン2：



出荷時にリセット —を選択して押すと、すべての設定が工場デフォルト値にリセットされます。以下の警告メッセージが表示されます：

出荷時にリセットしています





コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

LAN 設定  を選択して押して、LAN 設定を起動します。[LAN 設定] メニューには次のオプションがあります。

詳細設定		Dell 7700FullHD	
画像設定	ワイヤレス/LAN		▶ 有効
表示設定	DHCP		▶ オン
投写機設定	IPアドレス		▶ 192.168.100.10
LAN設定	サブネットマスク		▶ 255.255.255.0
無線設定	ゲートウェイ		▶ 192.168.100.10
メニュー設定	DNS		▶ 0.0.0.0
パワー設定	保存		▶ 押す <input checked="" type="checkbox"/>
PIP設定	リセット		▶ 押す <input checked="" type="checkbox"/>
情報			

解像度 : 1920 x 1080

ワイヤレス/LAN—**有効**を選択すると、ワイヤレスと LAN 機能が起動します。


DHCP—プロジェクトが接続されるネットワークに DHCP サーバが存在する場合、IP アドレスは DHCP オンを選択するとき自動的に取得されます。DHCP がオフの場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。とを使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの番号を選択します。エンターを入力して各番号を確認し、とを使用して次の項目を設定します。

IP アドレス—IP アドレスをネットワークに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てます。









サブネットマスク—ネットワーク接続のサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

保存  を押して、ネットワーク設定で行った変更を保存します。

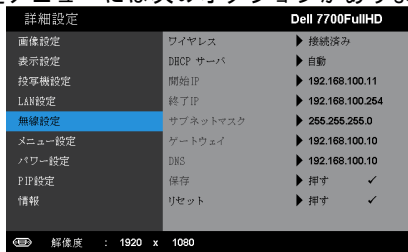
メモ :

- と ボタンを使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS および保存を選択します。
-  ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
 - と ボタンを使ってオプションを選択します。
 - と ボタンを使って値を設定します。
 - セットアップが完了したら、 ボタンを押して終了します。


- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS をセットアップした後、**保存**を選択し✓ ボタンを押して設定を保存します。
- Enter** ボタンを押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

リセット—✓を押して、ネットワーク設定をリセットします。

無線設定—✓を選択して押し、ワイヤレス設定を起動します。ワイヤレス設定メニューには次のオプションがあります。



ワイヤレス—デフォルトのオプションは**接続済み**です。**切断済み**を選択すると、ワイヤレス接続が無効になります。

 **メモ**：ワイヤレス接続に対して初期設定を使用することをお勧めします。

DHCP サーバ—ワイヤレスの DHCP サーバを有効にすることができます。

開始 IP—DHCP サーバの開始 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てることができます。

終了 IP—DHCP サーバの終了 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てることができます。





サブネットマスク—ワイヤレス接続のサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

DNS—DNSを手動で設定する場合、DNS サーバ IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

保存—✓を押して、ワイヤレス設定で行った変更を保存します。

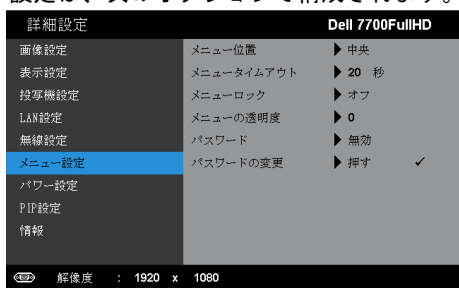
 **メモ**：

-  と  ボタンを使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS および保存を選択します。
- ✓ ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
 -  と  ボタンを使ってオプションを選択します。

- b とボタンを使って値を設定します。
- c セットアップが完了したら、ボタンを押して終了します。
3. IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS をセットアップした後、**保存**を選択しボタンを押して設定を保存します。
4. **Enter** ボタンを押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

リセット—を押して、ワイヤレス設定をリセットします。

メニュー設定—を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。



メニュー位置—OSD メニューの画面上の位置を変更します。

メニュータイムアウト—OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。

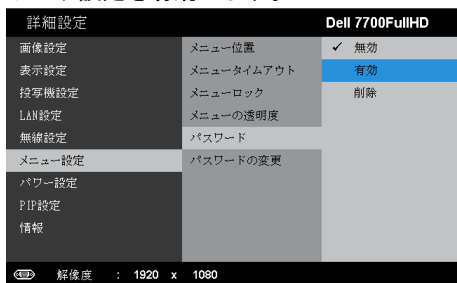
メニューロック—オンを選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。オフを選択するとメニューロックが解除されます。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合は、コントロールパネルまたはリモコンの **メニューボタン** を 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

メニューの透明度—OSD 背景の透明度レベルを変更します。

パスワード—パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れる際にパスワードの入力が求められます。

1 初回パスワード入力の要請：


- a **メニュー設定**に移動し、**✓**を押したら**パスワード**を選択し**パスワード設定を有効**します。



- b **パスワード機能を有効**にすると、**変更スクリーン**がポップアップ表示されます。スクリーンから**4桁の数字**を入力し、**✓**を押します。



- c **確認**のため、**パスワード**をもう一度入力します。
- d **パスワード**が**認証**されると、**プロジェクタの機能とユーティリティ**にアクセスできます。
- 2 **間違ったパスワード**を入力した場合は、あと**2回**で正しい**パスワード**を入力する必要があります。**3回無効なパスワード**を入力すると、**プロジェクタ**は自動的に**オフ**になります。

 **メモ**：パスワードを忘れた場合は、**DELL™**または**正規サービス技術者**までご連絡ください。

- 3 **パスワード機能を無効**にするには、**無効**オプションを選択して機能を閉じます。
- 4 **パスワードを削除**するには、**削除**オプションを選択します。

パスワードの変更 —元のパスワードを入力します。次に、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再び確認します。

元のパスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード): X X X X

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-0R64VN-S0081-125-0001 選択 確認

新しいパスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード): X X X X

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-0R64VN-S0081-125-0001 選択 確認

新しいパスワードを再入力してください。

パスワード(4文字コード): X X X X

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	


PPID CN-0R64VN-S0081-125-0001 選択 確認

パワー設定 —✓を選択して押して、電力使用設定を起動します。電力使用設定メニューには次のオプションがあります。

詳細設定	Dell 7700FullHD	
画像設定	クイック停止	▶ オフ
表示設定	省電力	▶ 120分
投写機設定	ワイヤレス	▶ スタンバイ時オフ
LAN設定	VGA 出力	▶ スタンバイ時オフ
無線設定	ランプモード	▶ ノーマル
メニュー設定	ランプリセット	▶ 押す ✓
パワー設定		
PIP設定		
情報		

解像度 : 1920 x 1080

クイック停止—オンを選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。

 **メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。直ちに電源をオンにしようとすると、電源がオンになるまでより時間がかかります。その冷却ファンは約30秒間全速力で作動し、内部温度を安定します。

省電力—オフを選択すると省電力モードは無効になります。デフォルトで、プロジェクタは120秒間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にどれかのボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。省電力は30分、60分、90分、120分に設定できます。

遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクタはオフになります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

ワイヤレス—プロジェクタがスタンバイ状態に入っている間、常にオンまたはスタンバイ時オフを選択してワイヤレス/LANモジュールをオン/オフに設定することができます。

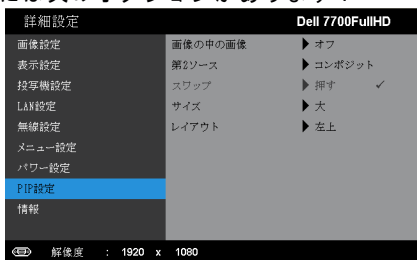
VGA出力—プロジェクタのスタンバイ状態で、VGA出力について常にオンまたはスタンバイ時オフが選択できます。

ランプモード—ノーマルまたはエコモードから選択します。

ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。エコモードは低電力レベルで作動するため、ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミネンス出力が弱くなります。

ランプ時リセット—を押して確認オプションを選択し、ランプ寿命をリセットします。

PIP 設定 — 選択して✓を押すと、PIP 設定が起動します。PIP 設定メニューには次のオプションがあります：



画像の中の画像 — オンを選択して画像の中の画像表示を有効にします。オフを選択して無効にします。

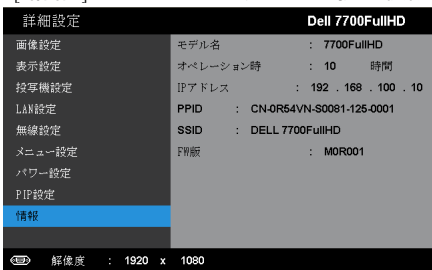
第2ソース — 現在のプライマリ入力ソースに応じて、OSDメニューで利用可能な第2ソースを選択します。113ページの「PIPのソースの組み合わせ」をご覧ください。

スワップ — ✓を押して、第1ソースと第2ソースの表示をスワップします。

サイズ — 第2ソースの画像サイズを調整します。オプション：小、中、大、と中。

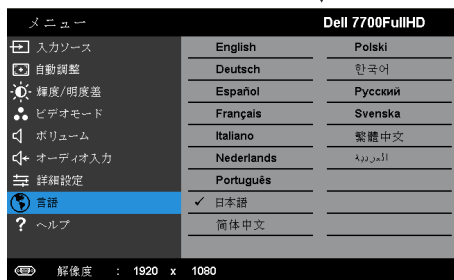
レイアウト — 第2ソースの位置を4つの角のいずれかに変更します。オプション：左上、右上、左下、と右下。

情報 — [情報]メニューには、現在の投写機設定が表示されます。



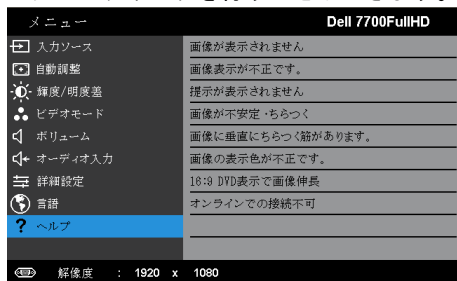
言語

OSD 用の言語を設定します。✓を押して言語メニューを起動します。




ヘルプ

プロジェクトに問題が発生した場合、ヘルプメニューにアクセスしてトラブルシューティングを行うことができます。



ワイヤレスネットワーキングのインストール

 **メモ**：コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP™ Home または Professional Service pack 2 (32 ビット推奨)、Windows Vista 32 ビット、Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット

- MAC

MacBook 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア：

a Intel Dual Core 1.8 MHz 以上

b 256 MB の RAM (必須)、512 MB 以上を推奨

c 10 MB の空きハードディスク容量

d 64 MB VRAM 以上を搭載した nVIDIA または ATI グラフィックカード

e イーサネット接続用のイーサネットアダプタ (10 / 100 bps)

f WLAN 接続用にサポートされる WLAN アダプタ (任意の NDIS 準拠 802.11b または 802.11g または 802.11n WiFi デバイス)

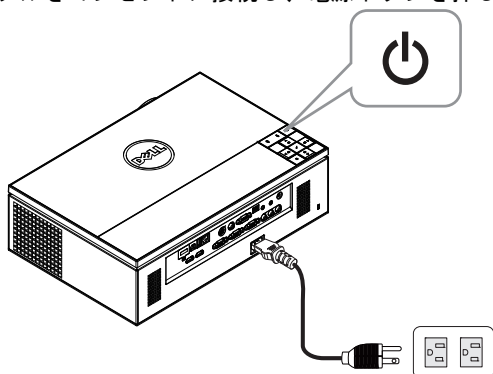
Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0 (推奨) または 8.0、Firefox 2.0、および Safari 3.0 以上

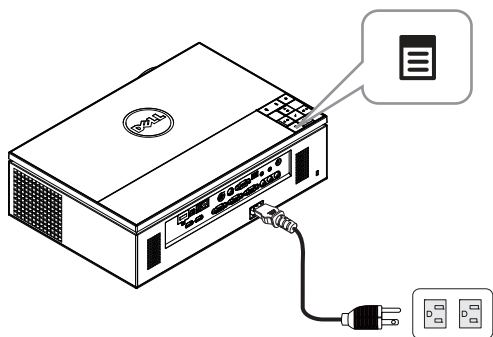
プロジェクタのワイヤレスを有効にする







プロジェクタをワイヤレスで使用するには、以下のステップを完了する必要があります。

- 1 オプションのワイヤレスドングルを取り付けます。11 ページの「オプションのワイヤレスドングルの取り付け」をご覧ください。
- 2 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源ボタンを押します。



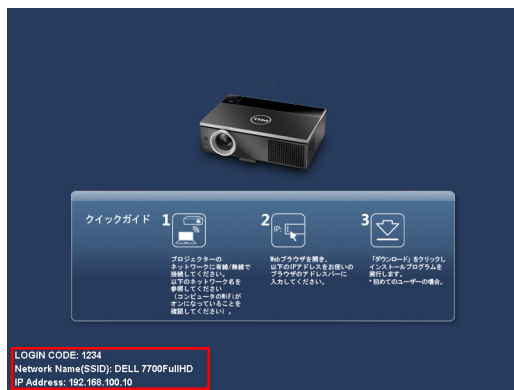
- 3 プロジェクタコントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを押します。



 **メモ**：、、、 ボタンを使用して  をナビゲートし選択します。

- 4 ワイヤレス接続デフォルトが**有効**になります。48 ページの「無線設定」をご覧ください。
- 5 入力ソースメニューにアクセスし、**無線** /USB を選択し、サブメニューで**無線表示**を引き続き選択します。38 ページの「入力ソースの無線 /USB」をご覧ください。

ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます。:



メモ：ワイヤレス接続が無効になっている場合、以下のステップに従ってセットアップします：詳細設定→無線設定→ワイヤレス→接続済み。このステップでワイヤレスオプションが選択されている場合、画像入力ソースはワイヤレススクリーンに自動的に切り替わります。

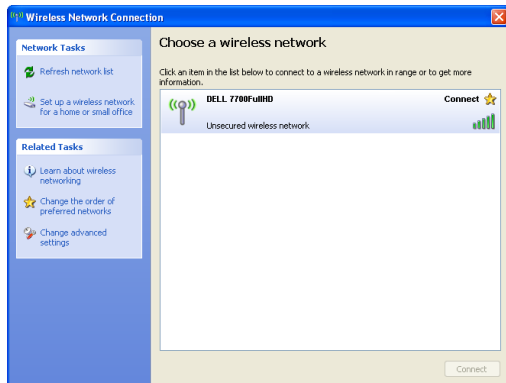
詳細設定		Dell 7700FullHD
画像設定	ワイヤレス	▶ 接続済み
表示設定	DHCP サーバ	▶ 自動
投写機設定	開始 IP	▶ 192.168.100.11
LAN設定	終了 IP	▶ 192.168.100.254
無線設定	サブネットマスク	▶ 255.255.255.0
メニュー設定	ゲートウェイ	▶ 192.168.100.10
パワー設定	DNS	▶ 192.168.100.10
PIP設定	保存	▶ 押す ✓
情報	リセット	▶ 押す ✓

解像度 : 1920 x 1080

- 6** ログインコード、ネットワーク名 (SSID)、および IP アドレスをメモしてください。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

コンピュータにワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする

7 コンピュータを 7700FullHD ワイヤレスネットワークに接続します。

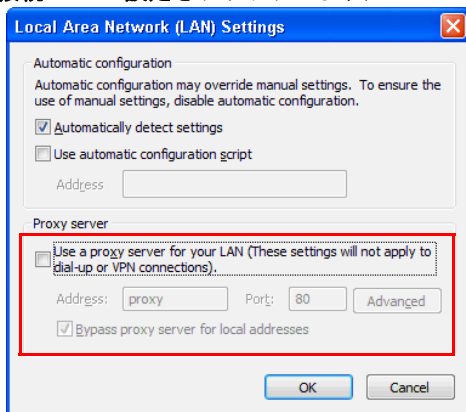


メモ :


- コンピュータには、接続を検出するためのワイヤレスネットワーク機能が搭載されている必要があります。
- 7700FullHD ワイヤレスネットワークに接続すると、他のワイヤレスネットワークとのワイヤレス接続を失います。

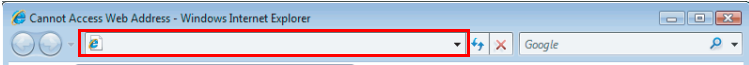


メモ : すべてのプロキシをオフにするのを忘れないでください。
(Microsoft® Windows Vista: コントロールパネル → インターネットオプション → 接続 → LAN 設定をクリックします)



8 インターネットブラウザを開きます。7700FullHD Web Management Web ページに自動的にジャンプします。

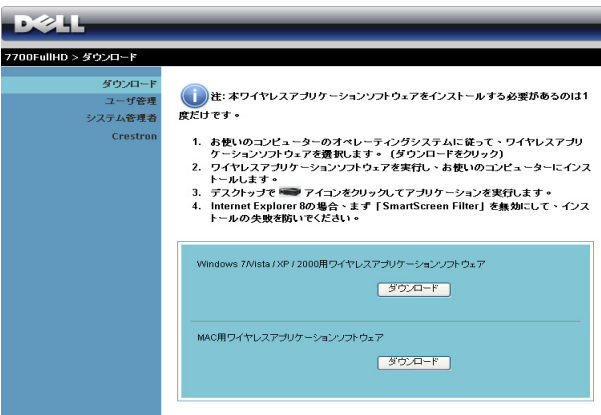
-  **メモ** : Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクタの画面からメモした IP アドレスを入力してください (デフォルト IP アドレスは 192.168.100.10)。




- 9 7700FullHD Web Management ページが開きます。初めて使用する場合、**ダウンロード**をクリックします。

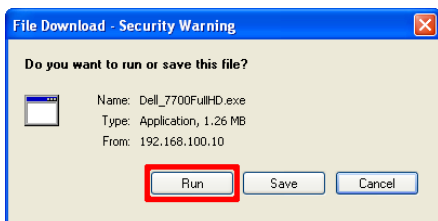



- 10 適切なオペレーティングシステムを選択し、**ダウンロード**をクリックします。



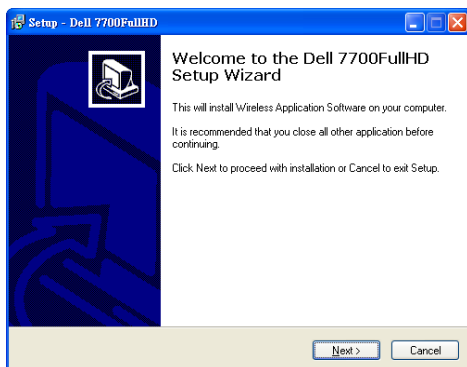
- 11 ファイル名を指定して Run をクリックして、ソフトウェアの 1 回限りのインストールに進みます。

 **メモ**：ファイルを保存して後でインストールを選択することができます。これを実行するには、**Save** をクリックします。




 **メモ**：コンピュータの不適切な権利のために、アプリケーションをインストールできない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 12 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを起動する


インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索を開始します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップでアイコン  をダブルクリックしてアプリケーションを起動します。Dell 7700FullHD を選択し、OK をクリックします。



ログイン

プロジェクタと通信するには、ワイヤレスネットワークのインストールの手順 6 に記載されたログインコードを入力し、OK をクリックします。

















 **メモ** : IP アドレスが検出されない場合、画面左下に表示される IP アドレスを入力します。

ボタンを理解する






ログインが成功すると、次の画面が表示されます。

プロジェクションモード







項目	説明
1	ステータスバー IPとログインコード情報を表示します。
	 メニュー このアイテムをクリックすると、アプリケーションメニューがアクティブになります。
	 最小化ボタン このボタンをクリックするとアプリケーションが最小化されます。
	 閉じるボタン このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。
2	ステータスモード
	 プロジェクションモード このアイテムをクリックすると、プロジェクションモードがアクティブになります。
	 ビデオモード このアイテムをクリックすると、ビデオモードがアクティブになります。
3	コントロールツールバー
	 全画面表示 このアイテムをクリックすると、全画面表示で画像を投影します。
	 分割1 このアイテムをクリックすると、画面左上の画像が投影されます。
	 分割2 このアイテムをクリックすると、画面右上の画像が投影されます。
	 分割3 このアイテムをクリックすると、画面左下の画像が投影されます。
	 分割4 このアイテムをクリックすると、画面右下の画像が投影されます。
	 停止 このボタンをクリックすると投影が停止されます。
	 一時停止 このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
	 オーディオ投影 このボタンをクリックするとオーディオ投影が有効になります。
4	接続状態
	 接続アイコン 投影が進行中の時に点滅します。


プレゼンテーションの投影

- プレゼンテーションを投影するには、投影ボタンのどれかをクリックします 。
- プレゼンテーションを一時停止するには、 をクリックします。アイコンが緑に変わります。
- プレゼンテーションを続行するには、 をクリックします。
- プレゼンテーションをオーディオ投射するには、 をクリックします。71 ページの「オーディオ投射のインストール」をご覧ください。
- プレゼンテーションを停止するには、 をクリックします。

ビデオモード



項目	説明	
1	コントロールツールバー	
	開く	このボタンをクリックすると、フォルダが開き、ビデオまたは音楽ファイルを検索します。
	投影	このボタンをクリックすると、プレーヤーを開始します。
	停止	このボタンをクリックすると、プレーヤーを停止します。
	消音	このボタンをクリックすると、消音にしたり消音を解除します。


 **メモ**：次の情報は、ワイヤレスデータプレゼンテーションモード専用です。ビデオクリップまたはアニメーションを表示している場合、画像ディスプレイが遅くなるかスムーズに表示されない可能性があります。詳しくは、以下のフレームレートを参照してください。

ワイヤレスプレゼンテーションのフレームレート


画面変動 % ¹	推定フレーム / 秒 ²
<5%	30 ³
<10%	28 ³
<20%	26 ³
<40%	25 ³
<75%	22 ³
<=100%	20 ³

メモ :

- 1 画面変動のパーセンテージは 1024 x 768 に基づいています。例えば、1024 x 768 デスクトップに 320 x 240 を表示する場合、画面変動は 9.8% です。
- 2 実際のフレームレートは、ネットワーク環境、画像コンテンツ、信号条件、場所、CPU パフォーマンスなどの要因によって異なります。
- 3 802.11g 接続を使用するクリーンな WLAN 環境下では、画面の伸縮はありません。
- 4 1024 x 768 に 802.11g の下で圧縮されます。

 **メモ :** ワイヤレス、USB ディスプレイおよび USB ビューアプレゼンテーションを実行しているとき、コンピュータは S1 (スタンバイモード) / S3 (スリープモード) / S4 (ハイパーネートモード) に入りません。

メニューを使う

 をクリックしてメニューを表示します。



WEB 管理 —このボタンをクリックして Web 管理ページを開きます。78 ページの「Web 管理からプロジェクトの管理」をご覧ください。

プロジェクトの検索 —このボタンをクリックしてワイヤレスプロジェクトを検索し、接続します。

APPLICATION TOKEN ウィザード —このボタンをクリックしてアプリケーショントークンを作成します。99 ページの「アプリケーショントークンの作成」をご覧ください。

情報 —このボタンをクリックすると、システム情報が表示されます。

ホットキー —このアイテムをクリックすると、ホットキー情報が表示されます。

このソフトウェアについて —このアイテムをクリックすると、アプリケーションバージョンが表示されます。

終了 —このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。

Presentation to Go (PtG) のインストール

PtG をインストールするためのシステムの最小要件：

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP™ Home または Professional Service pack 2/3 (32 ビット推奨)、Windows Vista™ 32 ビット、または Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット

- Office 2003 または Office 2007

USB ビューアを使用するには、以下のステップを完了する必要があります。「ワイヤレスと LAN」オプションおよび「ワイヤレス接続」のデフォルトは有効になっています。

- 1 USB フラッシュドライブをプロジェクタに差し込みます。

メモ：

- 10 MB x 40 M ピクセル内で JPEG 形式の写真のみをサポートします。
- PtG コンバータは、PowerPoint ファイルを PtG ファイルに変換することができます。69 ページの「コンピュータに PtG Converter アプリケーションソフトウェアをインストールする」をご覧ください。
- 「PtG Converter-Lite」は、Dell サポートサイト (support.dell.com) からダウンロードできます。

- 2 入力ソースメニューで、無線 /USB を選択し、サブメニューで USB ビューアを引き続き選択します。38 ページの「入力ソースの無線 /USB」をご覧ください。

メモ：

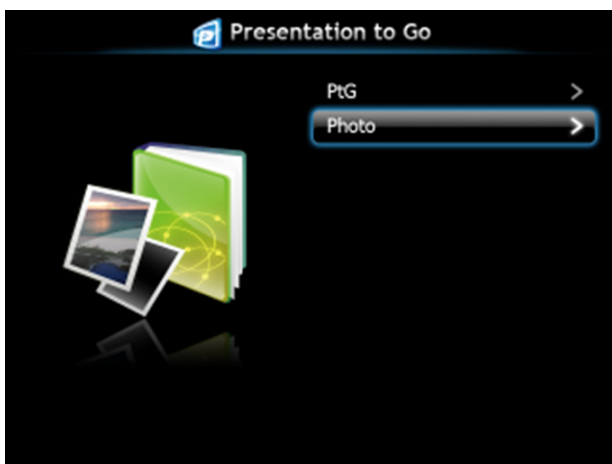
- 1 イヤレスと LAN 機能が無効になっている場合、LAN 設定メニューに移動し、[ワイヤレス /LAN] オプションの [有効] を選択してワイヤレスと LAN 機能を有効にします。
- 2 イヤレスと LAN 機能が無効になっている場合、LAN 設定メニューに移動し、[ワイヤレス /LAN] オプションの [有効] を選択してワイヤレスと LAN 機能を有効にします。

PtG ビューア

準備ができると、このページが表示されます。



写真ビューア



PtG/ 写真機能の概要

USB ディスクに保存された PtG と写真ファイルを表示します。

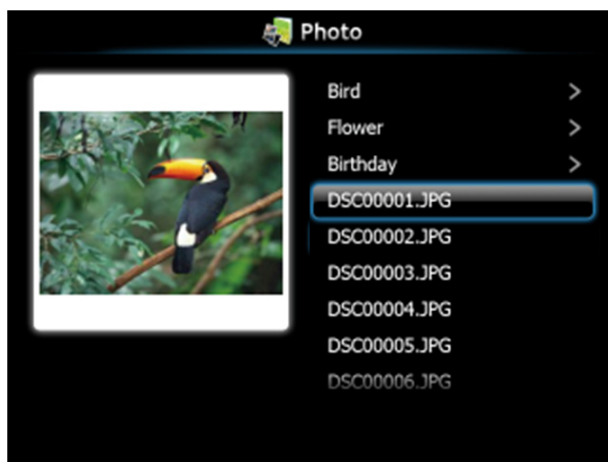
- **メモ** : 1つしかディスクが検出されないと、このステップをスキップします。



PtG 概要



写真概要



- メモ**：14の言語の写真ファイル名形式をサポートします（言語：英語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、朝鮮語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、スペイン語、スウェーデン語、繁体字中国語）。

ボタンの概要

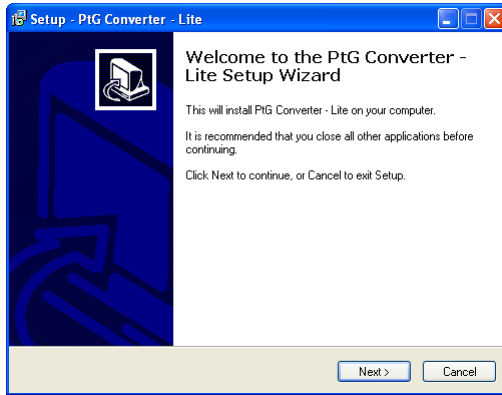
上、下および左ボタンを使ってナビゲートし、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの✓ボタンを使って選択します。


ボタン	上▲	ダウン▼	左◀	右▶	エンター ✓
PtG 機能	上	下	戻る	機能なし	入力
PtG 再生	前のページ	次のページ	戻る	機能なし	次の一時停止
写真機能	上	下	戻る	機能なし	入力
写真再生	前のページ	次のページ	戻る	機能なし	機能なし

- メモ**：PtG を使用している間 OSD に入る場合、上、下および左ボタンによる PtG ナビゲーションは機能しません。


コンピュータに **PtG Converter** アプリケーションソフトウェアをインストールする

スクリーンの指示に従って、セットアップを完了してください。




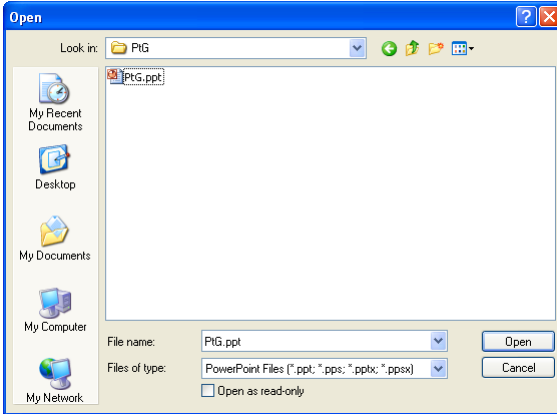
 **メモ**：「PtG Converter - Lite」は、Dell サポートサイト (support.dell.com) からダウンロードできます。

PtG Converter を使用する

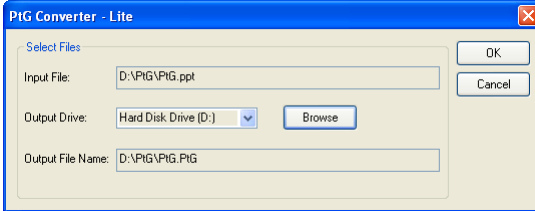
- 1 「PtG Converter - Lite.exe」を起動するか、もしくはデスクトップのアイコン  をダブルクリックしてアプリケーションを起動します。



- 2  をクリックして PowerPoint ファイルを選択し、変換を開始します。



- 3 参照ボタンをクリックして保管場所を選択し、OK を押します。



メモ :

- 1 コンピュータに MS PowerPoint がインストールされていないと、ファイル変換はできません。
- 2 PtG コンバータは、20 ページまでサポートします。
- 3 PtG は、ppt ファイルの .PtG ファイルへの変換のみをサポートします。

オーディオ投射のインストール

オーディオ投射では、**無線表示**および**LAN 表示**の入力ソースのみサポートします。

システムの最小要件：

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP™ Home または Professional Service pack 2/3 (32 ビット推奨)、Windows Vista 32 ビット、および Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット

- MAC

MacBook Pro 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア：

- a Intel® Core™ i5-460 MHz (2.53 GHz/Turbo 2.8 GHz) 以上
- b 1 GB DDR3 VRAM 独立グラフィックカード以上推奨
- c 1066 MHz で 2 GB デュアルチャンネル DDR3 SDRAM メモリ以上推奨
- d ギガビットイーサネット
- e WLAN 接続用に Integrated 802.11 b/g/n Wi-Fi デバイス



メモ：コンピュータがハードウェアの最小要件を満たしていない場合、オーディオ投射が遅くなったりノイズが生じる可能性があります。オーディオ投射のパフォーマンスを最適にするには、システムの推奨最小要件を満たしてください。



メモ：オーディオ投射でワイヤレス接続を使用する場合、オプションのワイヤレスドングルを取り付ける必要があります。11 ページの「オプションのワイヤレスドングルの取り付け」をご覧ください。



メモ：オーディオ投影機能を使用するには、特別なドライバをインストールする必要があります。お使いの PC へのドライバのインストールが必要な場合は、ポップアップ画面で通知されます。オーディオ投射ドライバは、Dell サポートサイト (support.dell.com) からダウンロードできます。



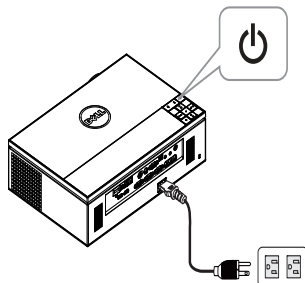
メモ：イーサネットより投影する場合のプロジェクトの接続ポート / プロトコル：

UDP: 1047、	(バックアップ: 1048、1049)
------------	---------------------

TCP: 3268、515、1688、1041	(バックアップ: 389、8080、21)
-------------------------	-----------------------

プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。



- 2.1 オーディオ投射に LAN を使用する場合、以下の手順に従ってワイヤレスと LAN 機能を有効にします（デフォルトは有効）。詳細設定 → LAN 設定 → ワイヤレス/LAN → 有効。

詳細設定		Dell 7700FullHD
画像設定	ワイヤレス/LAN	▶ 有効
表示設定	DHCP	▶ オン
投写機設定	IPアドレス	▶ 192.168.100.10
LAN設定	サブネットマスク	▶ 255.255.255.0
無線設定	ゲートウェイ	▶ 192.168.100.10
メニュー設定	DNS	▶ 0.0.0.0
パワー設定	保存	▶ 押す ✓
PIP設定	リセット	▶ 押す ✓
情報		

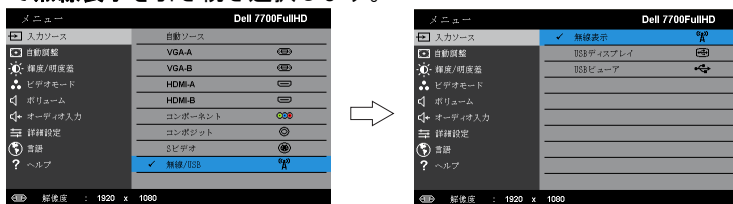
解像度 : 1920 x 1080

- 2.2 オーディオ投射にワイヤレスを使用する場合、以下の手順に従ってワイヤレス接続を有効にします（デフォルトは接続済み）。詳細設定 → 無線設定 → ワイヤレス → 接続済み。

詳細設定		Dell 7700FullHD
画像設定	ワイヤレス	▶ 接続済み
表示設定	DHCP サーバ	▶ 自動
投写機設定	開始IP	▶ 192.168.100.11
LAN設定	終了IP	▶ 192.168.100.254
無線設定	サブネットマスク	▶ 255.255.255.0
メニュー設定	ゲートウェイ	▶ 192.168.100.10
パワー設定	DNS	▶ 192.168.100.10
PIP設定	保存	▶ 押す ✓
情報	リセット	▶ 押す ✓

解像度 : 1920 x 1080

- 3 入力ソースメニューにアクセスし、無線 /USB を選択し、サブメニューで無線表示を引き続き選択します。



ワイヤレスガイドスクリーンが以下に表示されます。



- 4 ログインコード、ネットワーク名 (SSID)、および IP アドレスをメモしてください。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。


コンピュータにワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする

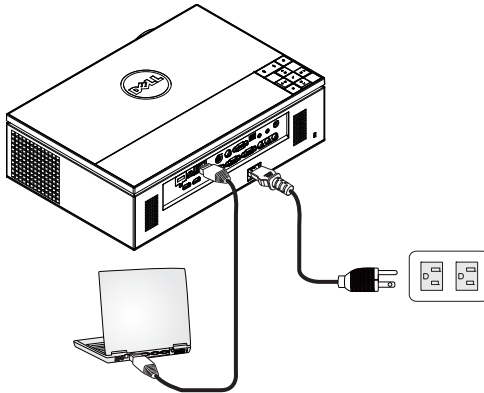
- 5 オーディオ投射のセットアップにワイヤレスまたは LAN を使用している場合、「ワイヤレスアプリケーションソフトウェア」が必要になります。初めてオーディオ投射を使用する際に、このソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。すでにインストールされている場合は、ステップ 5～6 を省略してください。



メモ: 「ワイヤレスアプリケーションソフトウェア」のインストールが必要なのは 1 回だけです。

- 6 ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのダウンロードとインストール手順については、55 ページの「ワイヤレスネットワークのインストール」の手順 7～手順 12 を参照してください。


-  **メモ**：オーディオ投射に LAN を使用する場合、LAN ケーブルをプロジェクタと PC に接続します。



ワイヤレスアプリケーションの起動

- 7 インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動します。または、デスクトップのアイコン  をダブルクリックしてアプリケーションを起動します。




-  **メモ**：

- 1 LAN による投影を選択した場合、「スキップ」をクリックします。
- 2 ワイヤレスによる投影を選択した場合、Dell 7700FullHD を選択し、「OK」をクリックします。


ログイン

- 8 プロジェクタとコミュニケーションを取るには、ログインコードを入力し（ステップ4参照）、OKをクリックします。

 **メモ**：IPアドレスが検出されない場合、ワイヤレス画面左下に表示されるIPアドレスを入力します。


- 9 これで7700FullHDワイヤレスアプリケーションにログインできました。アプリケーションの「投影」ボタンをクリックして、LANまたはワイヤレス投影を開始します。



 **メモ**：コントロールを使って、全画面表示モードまたは分割画面モードで投影することができます。

- 10 アプリケーションの「オーディオ投射」ボタンをクリックして、オーディオ投射機能を有効にします。



 **メモ**：コンピュータにドライバがインストールされていない場合、オーディオ投影機能では特別なドライバをインストールする必要があります。画面にドライバのインストールが必要な旨を示すメッセージがポップアップ表示されます。**特別なドライバ**は、Dell サポートサイト：support.dell.com からダウンロードできます。

- 11 コンピュータでWindows Media Playerまたはその他のオーディオプレーヤーソフトウェア（Winamp プレーヤーなど）を実行します。



ビデオストリームのインストール

ビデオストリームでは、ワイヤレスディスプレイおよび LAN ディスプレイ入カソースのみサポートします。


システムの最小要件：


オペレーティングシステム：


- Windows
Microsoft Windows XP™ Home または Professional Service pack 2/3 (32 ビット推奨)、Windows Vista™ 32 ビット、または Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット
- MAC
MacBook Pro 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア：

- a Dual® Core™ 1.8 GHz 以上
- b 64 MB VRAM 独立グラフィックカード以上推奨
- c 2 GB DDR SDRAM メモリ以上推奨
- d ギガビットイーサネット
- e WLAN 接続用に Integrated 802.11 b/g/n Wi-Fi デバイス

 **メモ：** コンピュータがハードウェアの最小要件を満たしていない場合、ビデオストリームが遅くなる可能性があります。ビデオストリームのパフォーマンスを最適にするには、システムの推奨最小要件を満たしてください。

 **メモ：** ワイヤレス機能を使用するには、オプションのワイヤレスドングルを取り付ける必要があります。11 ページの「オプションのワイヤレスドングルの取り付け」をご覧ください。

 **メモ：** イーサネットより投影する場合のプロジェクタの接続ポート / プロトコル：

UDP: 1047,	(バックアップ: 1048、1049)
TCP: 3268, 515, 1688, 1041	(バックアップ: 389、8080、21)

ビデオストリームのサポート形式

ファイル形式	ビデオ形式	最大解像度	オーディオ形式
MP4, MOV	H.263	FWVGA (854x480)	AAC LC, LPCM
MP4, MOV	H.264	最大 720P30	AAC LC, LPCM, MP3
MP4, MOV	MPEG-4	最大 720P30	AAC LC, LPCM, MP3
ASF	WMV9/VC-1	最大 720P24	WMA

プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする

71 ページの「オーディオ投射のインストール 手順 1～手順 4」の説明を参照して、ワイヤレスまたは LAN 機能を有効にします。

コンピュータにワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする

73 ページの「オーディオ投射のインストール 手順 5～手順 6」の説明を参照して、Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールします。

ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを起動する


74 ページの「オーディオ投射のインストール 手順 7」の説明を参照して、アプリケーションを起動します。


ログイン

75 ページの「オーディオ投射のインストール 手順 8」の説明を参照して、アプリケーションにログインします。

- 1 これですべての7700FullHD ワイヤレスアプリケーションにログインできました。「ビデオモード」ボタンをクリックして、ビデオモード画面に切り替えます。



- 2  をクリックして、ビデオまたは音楽ファイルを選択し、プレーヤーを開始します。

 **メモ:** ビデオまたは音楽ファイルを選択し、「再生」を押します。プロジェクタはまず休止状態に入り、数秒後にビデオまたは音楽ファイルの再生を開始します。

Web 管理からプロジェクトの管理

ネットワークセットアップの設定

プロジェクトがネットワークに接続されている場合、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。ネットワーク設定を行う場合、47 ページの「LAN 設定」を参照してください。

Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 2.0 以降を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場合からプロジェクトを管理できるようになりました。

ホームページ



- Web ブラウザにプロジェクトの IP アドレスを入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。47 ページの「LAN 設定」をご覧ください。
- リストから、Web 管理用の言語を選択します。
- 左タブのメニューアイテムをクリックして、ページにアクセスします。

ワイヤレスアプリケーションソフトウェアのダウンロード


55 ページの「ワイヤレスネットワーキングのインストール」を参照してください。

The screenshot shows a Dell support page for downloading wireless application software. The page has a blue header with the Dell logo and a navigation menu on the left. The main content area contains a note, a list of instructions, and two download buttons.

7700FullHD > ダウンロード

ダウンロード
ユーザ管理
システム管理者
Crestron

注: 本ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする必要があるのは1度だけです。

1. お使いのコンピュータのオペレーティングシステムに従って、ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを選択します。(ダウンロードをクリック)
2. ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを実行し、お使いのコンピュータにインストールします。
3. デスクトップで  アイコンをクリックしてアプリケーションを実行します。
4. Internet Explorer 8の場合、まず「SmartScreen Filter」を無効にして、インストールの失敗を防いでください。

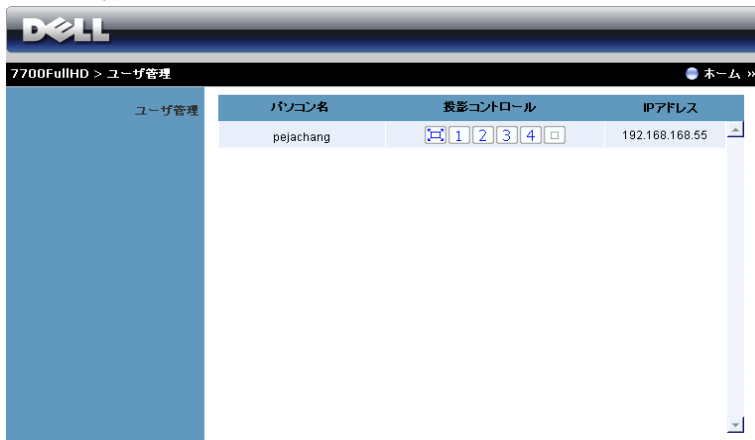
Windows 7/Vista / XP / 2000用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア
[ダウンロード](#)

MAC用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア
[ダウンロード](#)

コンピュータの対応するオペレーティングシステムの **ダウンロード** ボタンをクリックします。

ユーザ管理

これにより、プロジェクタケーブルを使わずにさまざまなソースから会議のプレゼンテーションをホストし、各プレゼンテーションが画面に表示される方法を制御することができます。



メモ：会議投影コントロールがない場合、アプリケーションの「再生」ボタンを押した最後のユーザーが全画面投影をコントロールします。

パソコン名：ユーザ管理用にログされたコンピュータを一覧表示します。

投影コントロール：ボタンをクリックして、各コンピュータの投影がスクリーンに表示される方法を制御します。

- 全画面表示投影 — コンピュータからのプレゼンテーションがスクリーン全体に占められます。
- 1 分割1 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左上に表示されます。
- 2 分割2 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右上に表示されます。
- 3 分割3 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左下に表示されます。
- 4 分割4 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右下に表示されます。
- 停止 - コンピュータからの投影が停止します。

IP アドレス：各コンピュータの IP アドレスを表示します。

メモ：会議を終了するには、ホームをクリックします。

プロジェクトの管理

システム管理者

7700FullHD > システム管理者

ダウンロード
ユーザ管理
システム管理者
Crestron

管理者パスワード	<input type="text"/>	ログイン
PPID	CN-0R54VN-80081-925-0000	

システム管理者ページにアクセスするには、管理者パスワードが要求されます。

- **管理者パスワード**: 管理者パスワードを入力して、**ログイン**をクリックします。初期設定のパスワードは「admin」です。パスワードを変更するには、86 ページの「パスワードの変更」を参照してください。

状態

7700FullHD > システム管理者 > 状態 ホーム >>

状態	ネットワーク状態	
ネットワークセットアップ	IPアドレス	192.168.3.80
投影セットアップ	サブネットマスク	255.255.255.0
パスワードの変更	デフォルトゲートウェイ	192.168.3.254
出荷時状態に戻す	MACアドレス	00:12:5F:00:1F:5B
ファームウェア更新	接続状態	
プロジェクターのアップグレード	投影状態	投影待ち中
プロジェクターのコントロールパネル	ユーザー数	0
アラート設定	プロジェクターの状態	
再起動	モデル名	7700FullHD
	プロジェクター名	
	場所	
	連絡先	
	ステータス	オン
	ランプ時間	1 hrs

ネットワーク状態、接続状態、およびプロジェクターの状態情報を表示します。

ネットワークセットアップ

47 ページの OSD セクションを参照してください。

7700FullHD > システム管理者 > ネットワークセットアップ

ホーム

状態

- ネットワークセットアップ
- 装置セットアップ
- パスワードの変更
- 出荷時状態に戻す
- ファームウェア更新
- プロジェクトのアップグレード
- プロジェクトのコントロールパネル
- アラート設定

再起動

IP セットアップ	<input checked="" type="radio"/> IPアドレスを自動的に取得				
	<input type="radio"/> 次の IP アドレスを使用する				
	IPアドレス	192	168	100	10
	サブネットマスク	255	255	255	0
DHCP セットアップ	<input checked="" type="radio"/> 自動				
	<input type="radio"/> 無効				
	開始IPアドレス	192	168	100	11
	終了IPアドレス	192	168	100	254
無線セットアップ	無線LAN	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効		
	地域	---- WORLDWIDE ----			
	SSID	DELL 7700FullHD			
	SSID ブロードキャスト	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 無効		
	チャンネル	自動			
	セキュリティ	無効			
RADIUS Server Setup	IPアドレス	192	168	100	10
	Port	1812			
	キー				
GateKeeper	<input type="radio"/> 全て開放	<input checked="" type="radio"/> 全て遮断	<input type="radio"/> インターネットのみ開放		
SNMP に対してセキュリティを設定します	書き込みコミュニティ	private			

適用 キャンセル

IP セットアップ

- IP アドレスを自動的に取得を選択して IP アドレスをプロジェクトに自動的に割り当てるか、または次の IP アドレスを使用するで IP アドレスを手動で割り当てます。

DHCP セットアップ

- 自動を選択して、開始 IP アドレス、終了 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバアドレスを DHCP サーバから自動的にセットアップするか、または無効でこの機能を無効にします。

無線セットアップ

- 有効を選択して地域、SSID、SSID ブロードキャスト、チャンネル、セキュリティ、キーをセットアップします。無効を選択して、ワイヤレスセットアップを無効にします。

SSID: 最大 32 の文字長。

セキュリティ: WPA キーを無効にしたり、ASCII または HEX 文字列で 64 ビットまたは 128 ビットのどちらかを選択します。

キー: 暗号化が有効になると、選択した暗号化モードに従ってキー値を設定する必要があります。

RADIUS Server Setup

- IP アドレス、ポートおよびキー情報をセットアップします。

GateKeeper

- 3 つのオプションがあります。

全て開放: ワイヤレスプロジェクトを介してオフィスのネットワークへのアクセスを許可します。

全て遮断: ワイヤレスプロジェクトを介してオフィスのネットワークへのユーザーのアクセスをブロックします。

インターネットのみ開放: ユーザーをオフィスネットワークからブロックしますが、インターネット接続機能は留保されます。

SNMP に対してセキュリティを設定します

- 書き込みコミュニティ情報をセットアップします。

適用 ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

投影セットアップ

状態 ネットワークセットアップ 投影セットアップ パスワードの変更 出荷時状態に戻す ファームウェア更新 プロジェクトのアップグレード プロジェクトのコントロールパネル アラート設定 再起動	投影セットアップ	解像度	720P (1280x720) ▼
		認証コード	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> ランダム <input type="radio"/> 指定 <input type="text"/>
	プロジェクトのセットアップ	モデル名	7700FullHD
		プロジェクト名	D05698
		場所	<input type="text"/>
		連絡先	<input type="text"/>
		<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

投影セットアップ

- **解像度**：解像度を選択します。オプション：XGA (1024 x 768) および 720p (1280 x 720)。
- **認証コード**：プロジェクトでログインコードの生成方法を選択します。3つのオプションがあります。
 - **無効**：システムにログインしているとき、ログインコードは必要ありません。
 - **ランダム**：デフォルトはランダムです。ログインコードはアトラランダムに生成されます。
 - **指定**：4桁のコードを入力します。このコードは、システムにログインするために使用されます。

プロジェクトのセットアップ

- **モデル名、プロジェクト名、場所、連絡先情報をセットアップ**します (各フィールドごとに最大 21 文字)。


適用ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

パスワードの変更

The screenshot shows the Dell iDRAC web interface. At the top, the Dell logo is on the left, and the breadcrumb navigation reads "7700FullHD > システム管理者 > パスワードの変更". On the right, there is a "ホーム" (Home) link. A left-hand navigation menu lists various system management tasks, with "パスワードの変更" (Change Password) highlighted. The main content area is titled "システム管理者" (System Administrator) and contains a form with two input fields: "新しいパスワード" (New Password) and "パスワード再入力" (Re-enter Password). A "適用" (Apply) button is located to the right of the second input field. At the bottom of the navigation menu, there is a "再起動" (Restart) button with a red power icon.

このページにより、管理者パスワードを変更します。

- **新しいパスワード**：新しいパスワード。
- **パスワード再入力**：パスワードを再入力して、**適用**をクリックします。

 **メモ**：管理者パスワードを忘れた場合、Dell にご連絡ください。

出荷時状態に戻す

The screenshot shows the Dell system management interface. At the top, the Dell logo is visible. Below it, the breadcrumb navigation reads "7700FullHD > システム管理者 > 出荷時状態に戻す". A "ホーム" button is in the top right corner. On the left, a navigation menu lists various system settings, with "出荷時状態に戻す" highlighted in blue. The main content area features a yellow warning icon and the heading "出荷時状態に戻す". Below the heading, the text states: "これで、ワイヤレス/ネットワークの設定をデフォルト設定に戻します。" At the bottom of this section is a button labeled "適用".

適用ボタンをクリックしてすべてのワイヤレス/ネットワーク設定を工場出荷時の初期設定に復元します。

ファームウェア更新

ファームウェア更新ページを使って、プロジェクトのワイヤレスファームウェアを更新します。

The screenshot shows the Dell system management interface. At the top, the Dell logo is visible. Below it, the breadcrumb navigation reads "7700FullHD > システム管理者 > ファームウェア更新". A "ホーム" button is in the top right. The main content area is divided into a left sidebar and a main panel. The sidebar contains a "状況" section with links for "ネットワークセットアップ", "投写セットアップ", "パスワードの変更", "出荷時状態に戻す", "ファームウェア更新" (highlighted), "プロジェクトのアップグレード", "プロジェクトのコントロールパネル", and "アラート設定". Below the sidebar is a "再起動" button. The main panel displays the "ワイヤレスファームウェアバージョン" as "VW21" and the "リリース日" as "20120105". Below this, a message states: "ファームウェアのアップデートには数分かかります。いったんプロセスが開始されたら中断しないで下さい。更新が完了すると、ワイヤレスシステムは自動的に再起動します。更新するファイル(*.awd)を選択してください。" There is a text input field for the "ファイル名" and a "参照..." button. A "更新" button is at the bottom of the main panel.

メモ：ファームウェア更新が成功した後、OSD を使ってワイヤレス / ネットワークの無効 / 有効を切り替えてプロジェクトのネットワークカードを再起動してください。

ファームウェア更新を開始するには、次のステップを行います：

- 1 **参照**を押して更新するファイルを選択します。
- 2 **更新**ボタンをクリックして開始します。デバイスでファームウェアを更新している間、お待ちください。

The screenshot shows a warning message during the firmware update process. It features a yellow warning icon with an exclamation mark. The text reads: "ファームウェアを書き込み中は、お待ちください。" Below this, a warning message states: "警告：フラッシュメモリに書き込むために5-7分を要します。この間にシャットダウンや再起動の様な割り込み操作が発生する場合、システムが破壊されてしまいます!!" At the bottom, it shows "残り時間：407秒".

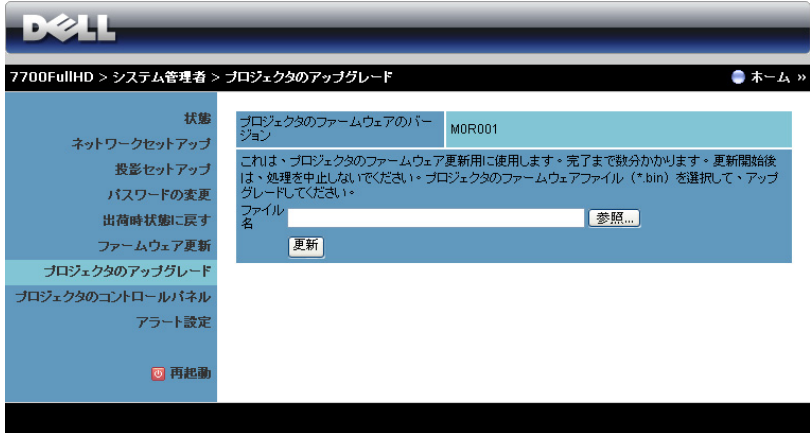
注意：更新プロセスを中断しないでください。システム破壊の原因となります。


- 3 更新が完了したら、**確認**をクリックします。




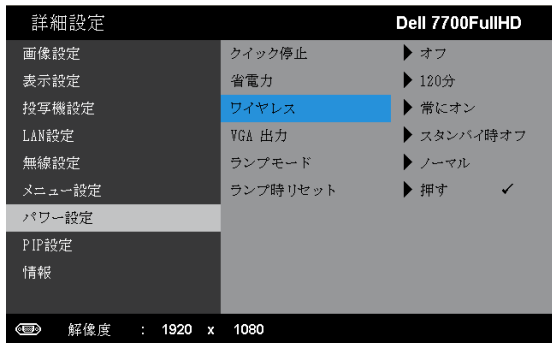
プロジェクトのアップグレード

プロジェクトのアップグレードページより、プロジェクトのファームウェアを更新します。



 **メモ**：ファームウェア更新が成功した後、OSD を使ってワイヤレス / ネットワークの無効 / 有効を切り替えてプロジェクトのネットワークカードを再起動してください。

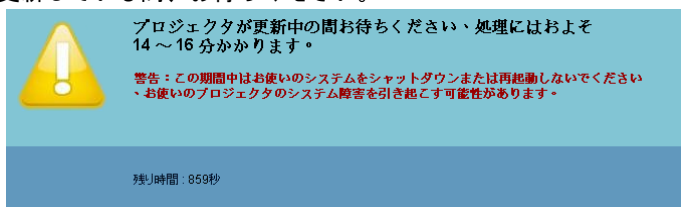
 **メモ**：ワイヤレスのスタンバイモードを必ずオンにし（デフォルトはオフ）、以下の手順に従います。詳細設定 -> パワー設定 -> ワイヤレス -> 常にオン。



ファームウェア更新を開始するには、次のステップを行います：

- 1 電源コードを差し込むと、プロジェクトはスタンバイモードに入ります。
- 2 LAN ケーブルをプロジェクトとコンピュータに接続します。

- 3 インターネットブラウザを起動し、IP アドレスを入力します（デフォルトの IP アドレスは 192.168.100.10）。
- 4 プロジェクトのアップグレード Web ページで、**参照**を押して更新するファイルを選択します。
- 5 **更新**ボタンをクリックして開始します。デバイスでファームウェアを更新している間、お待ちください。



- **メモ**：温度およびランプ LED 灯が 2 つとも黄色点灯します。
 - △ **注意**：更新プロセスを中断しないでください。システム破壊の原因となります。
- 6 更新が完了したら、**確認**をクリックします。



プロジェクタのコントロールパネル

7700FullHD > システム管理者 > プロジェクタのコントロールパネル

ホーム

状態

ネットワークセットアップ

投影セットアップ

パスワードの変更

出荷時状態に戻す

ファームウェア更新

プロジェクトのアップグレード

プロジェクトのコントロールパネル

アラート設定

再起動

プロジェクト情報

プロジェクターの状態: オン [リフレッシュ]

省電力: 120分 [電源オン] [電源オフ]

アラート状態: よい [クリア]

イメージ制御

操作モード: 標準モード エコモード

投影モード: フロントプロジェクション/デスクトップ

ソース選択: ワイヤレスディスプレイ

ビデオモード: プレゼンテーションモード

何もうつっていない画面: オン オフ

縦横比: 元 4:3 Wide

明るさ: 46 (0-100) [設定]

コントラスト: 50 (0-100) [設定]

自動調整

オーディオ管理

オーディオ入力: ワイヤレス/LAN

ボリューム: 10 (0-20) [設定]

スピーカー: オン オフ

出荷時にリセット

プロジェクト情報

- プロジェクターの状態**：次の5つのステータスがあります：ランプオン、スタンバイ、省電力、冷却、ウォームアップ。リフレッシュをクリックして、ステータスとコントロール設定を更新します。
- 省電力**：省電力は、オフ、30分、60分、90分、120分に設定できます。詳しくは、52ページの「省電力」を参照してください。
- アラート状態**：3つのアラート状態があります：ランプ警告、ランプ寿命の低下、および温度警告。警報が有効になっている場合、プロジェクタは保護モードにロックされます。保護モードを終了するには、クリアをクリックして警報状態を消去してから、プロジェクタの電源をオンにします。

イメージ制御

- **操作モード**：操作モードを選択します。オプション：通常モードとエコモード。
- **投影モード**：プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。次の4つの投影モードがあります：投影モードには、フロントプロジェクションデスクトップ、フロントプロジェクションシーリングマウント、リアプロジェクションデスクトップ、リアプロジェクションシーリングマウントの4つのモードがあります。
- **ソース選択**：ソース選択メニューではプロジェクタの入力ソースを選択できます。VGA-A、VGA-B、Sビデオ、コンポジットビデオ、HDMI-A、HDMI-B、RCAコンポーネント、ワイヤレスディスプレイ、USBディスプレイ、USBビューアから選択できます。
- **ビデオモード**：プロジェクタを使用する方法に基づいて、ディスプレイ画像を最適化するモードを選択します：
 - **プレゼンテーションモード**：プレゼンテーションスライドに最適です。
 - **明るさ**：最大の明るさとコントラスト
 - **映画**：映画と写真の表示用です。
 - **sRGB**：より正確なカラープレゼンテーションを提供します。
 - **カスタム**：お好みの設定です。
- **何もうつっていない画面**：オンまたはオフを選択できます。
- **縦横比**：縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。
- **明るさ**：値を選択して画像の明るさを調整します。
- **コントラスト**：値を選択してディスプレイのコントラストを調整します。

自動調整ボタンをクリックして、設定を自動的に調整します。

オーディオ管理

- **オーディオ入力**：入力ソースを選択します。オプション：アナログ入力、HDMI-A、HDMI-B、およびワイヤレス/LAN。
- **ボリューム**：オーディオボリュームに対して値(0～20)を選択します。
- **スピーカー**：オンを選択してオーディオ機能を有効にしたり、オフを選択してオーディオ機能を無効にしたりできます。

出荷時にリセットボタンをクリックして、工場出荷時の設定に復元します。

アラート設定

The screenshot shows the Dell system management interface for alert settings. The top navigation bar includes the Dell logo and the path "7700FullHD > システム管理者 > アラート設定". A "ホーム" button is visible in the top right. The left sidebar contains a menu with options like "ネットワークセットアップ", "パスワードの変更", and "アラート設定" (highlighted). The main content area is titled "Eメールアラート" and includes a "メール警報テスト" button. Below this are sections for "宛先", "Cc", "発信元", and "件名" (set to "7700FullHD-D05698.Alert"). The "SMTP設定" section includes fields for "送信SMTPサーバ", "ユーザー名", and "パスワード". The "警報条件" section has three checkboxes for "ランプ警告", "ランプ寿命が短くなっています", and "ランプ寿命が短くなっています". A "再起動" button is also present in the sidebar.

E メールアラート

- **E メールアラート**：E メールで通知を受け取るか（有効）、または受け取らない（無効）かを設定できます。
- **宛先/Cc/発信元**：異常または警告が発生した場合、通知を受信する送信者（発信元）と受信者（宛先/Cc）の E メールアドレスを入力できます。
- **件名**：Eメールの件名を入力できます。

メール**警報テスト**ボタンをクリックして、Eメールアラート設定をテストします。

SMTP 設定

- **送信SMTPサーバ**、**ユーザー名**および**パスワード**は、ネットワーク管理者または MIS から提供を受ける必要があります。

警報条件

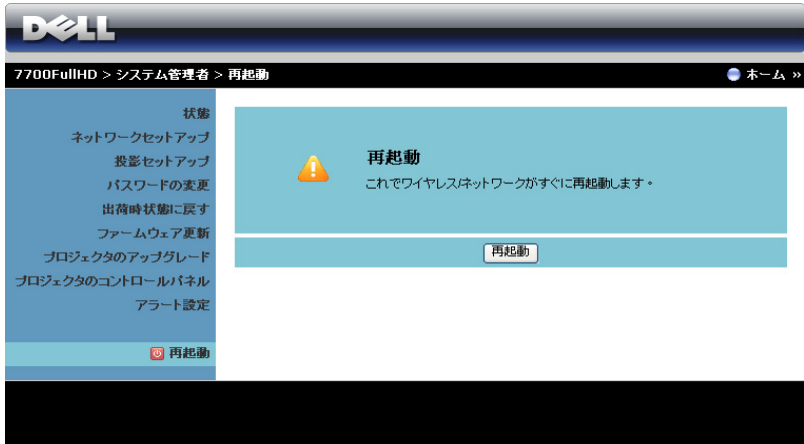
- Eメールで通知する異常や警告を選択できます。どれかの警報条件が発生したとき、Eメールが受信者（宛先/Cc）に送信されます。

保存ボタンをクリックして設定を保存します。



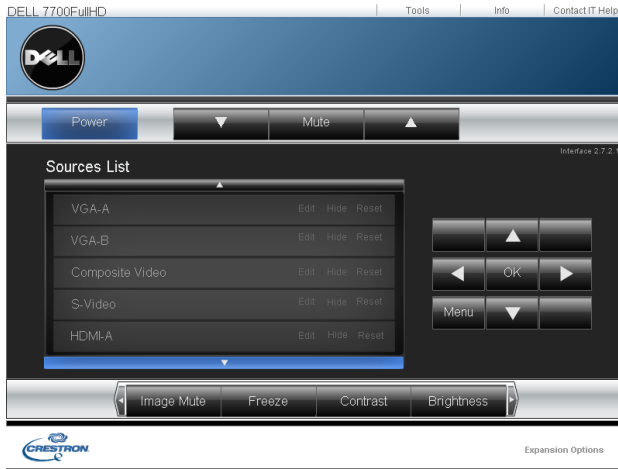
メモ：電子メールアラートは、デフォルトの 25 ポートを使う標準の SMTP サーバーで機能するように設計されています。暗号化と認証（SSL または TLS）はサポートしません。

再起動



再起動をクリックすると、システムが再起動します。

Crestron



Crestron 機能の場合。

よくある質問：

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。ブラウザをどのように設定すればいいのでしょうか？

ブラウザを最適の状態を設定するには、以下のステップに従ってください。

- 1 [コントロールパネル] → [インターネットオプション] → [全般][タブ] → [インターネット一時ファイル] → [設定] → [選択][ページへのすべての訪問者]を順番に開きます。
- 2 一部のファイアウォールやアンチウイルスが HTTP アプリケーションをブロックすることがあります。可能な場合、ファイアウォールやアンチウイルスをオフにしてください。

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。そのためには、どのソケットポート番号をファイアウォールで開くべきですか？

次は、プロジェクトが使用する TCP/IP ソケットポートです。

UDP/TCP	ポート番号	説明
TCP	80	Web 設定 (HTTP)
UDP/TCP	25	SMTP：メールサーバー間で E メールルーティングに使用します
UDP/TCP	161	SNMP：簡易ネットワーク管理プロトコル
UDP	9131	AMX：AMX ディレクトリに使用します

インターネットを介してプロジェクトにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 コンピュータ / ノート PC がインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- 2 コンピュータ / ノート PC が同じサブネットに有るかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

SMTP サーバーにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 SMTP サーバー機能がプロジェクトに対して開いており、プロジェクトに割り当てられた IP が SMTP サーバーへのアクセスを許可されているかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。プロジェクトの SMTP ソケットポート番号は 25 で、これを変更することはできません。
- 2 送信 SMTP サーバー、ユーザー名、パスワードが正しく設定されているか、確認してください。
- 3 SMTP サーバーには、「発信元」のメールアドレスが「ユーザー名」と「パスワード」に相互に関連付けられているかどうかを確認するものもあります。例えば、「発信元」のメールアドレスとして test@dell.com を使用します。SMTP サーバーにログインするユーザー名とパスワードに対して、test@dell.com アカウント情報を使用する必要もあります。

プロジェクトがテストメールの送信されたことをすでに示しているのに、メール警報テストを受信できないのはどうしてですか？

SMTP サーバーが警報メールをスパムメールとして認識しているか、SMTP サーバーの制約が原因となっていると思われます。SMTP サーバーの設定については、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ファイアウォール設定とよくある質問 (FAQ)


Q : Web 管理ページにアクセスできないのは、どうしてですか？


A : コンピュータのファイアウォール設定では、Web 管理 Web ページにアクセスできないようにします。次の設定をご参照ください。

ファイアウォール 設定 保護	
McAfee セキュリティセンター	<ol style="list-style-type: none">1 McAfee セキュリティセンターを起動します ([スタート] > [すべてのプログラム] > [McAfee] > [McAfee セキュリティセンター])。2 パーソナルファイアウォールプラスタブで、インターネットアプリケーションリストを表示リストをクリックします。3 リストから Dell 7700FullHD プロジェクトを検索し、選択します。4 その [許可] カラムを右クリックします。5 ポップアップメニューから 完全アクセスを許可 を選択します。
Norton AntiVirus	<ol style="list-style-type: none">1 Norton AntiVirus を開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Norton AntiVirus] > [Norton AntiVirus])。2 オプションメニューをクリックしてから、Norton AntiVirus を選択します。3 ステータス ページで、インターネットワーム保護を選択します。4 プログラムのリストから Dell 7700FullHD プロジェクトを検索し、選択します。5 その インターネットアクセス カラムを右クリックします。6 ポップアップメニューから すべて許可 を選択します。7 OK をクリックします。

ファイアウォール 保護	設定
Sygate パーソナル ファイアウォール	<ol style="list-style-type: none"> 1 Sygate パーソナルファイアウォールを開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Sygate] > [Sygate パーソナルファイアウォール])。 2 アプリケーションの実行 リストから、Dell 7700FullHD プロジェクタを検索して右クリックします。 3 ポップアップメニューから 許可を選択します。
Windows ファイア ウォール	<ol style="list-style-type: none"> 1 Windows 機能を開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [コントロールパネル])。 Windows ファイアウォールをダブルクリックします。 2 [全般] タブで、[例外を認めない] のチェックを外します。 3 例外タブで、プログラムの追加ボタンをクリックします。 4 プログラムのリストから Dell 7700FullHD プロジェクタを検索して選択し、OK をクリックします。 5 OK をクリックして、例外設定を確認します。
ゾーンアラーム	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゾーンアラームファイアウォールを開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [ゾーンラボ] > [ゾーンラボセンター])。 2 [プログラム制御] ページで、リストから Dell 7700 FullHD プロジェクタを検索して選択します。 3 その アクセス-信頼 カラムを右クリックします。 4 ポップアップメニューから 許可を選択します。 5 アクセス-インターネット、サーバー-信頼、および サーバー-インターネットカラムで許可するを右クリックし、選択します。

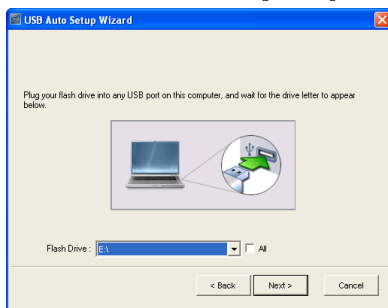
アプリケーショントークンの作成

 **メモ**：この機能は、ワイヤレス機能搭載モデルでのみ使用できます。アプリケーショントークンでは、USB トークンを使用してプラグおよび表示を実行できます。

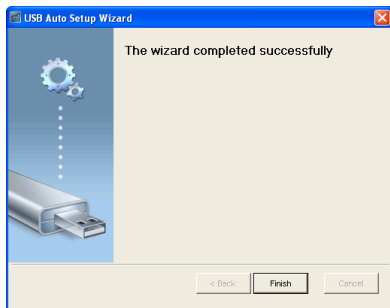
- 1 アプリケーションソフトウェアから、 > [アプリケーショントークンの作成] をクリックします。
- 2 次の画面が表示されます。**次へ**をクリックします。



- 3 コンピュータの USB ポートのどれかにフラッシュドライブを差し込みます。リストからドライブを選択し、[次へ] をクリックします。



4 [終了] をクリックしてウィザードを閉じます。

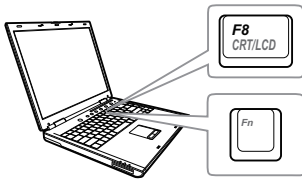


プロジェクタのトラブルシューティング



プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください (Dell™ へのお問い合わせはページ 115 をご覧ください)。





問題

画面に画像が表示されない。



解決方法

- レンズキャップを外して、プロジェクタの電源が入っていることを確認します。
- 入力ソースメニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。10 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください (106 ページの「ランプの交換」をご覧ください)。
- **詳細設定メニューの投写機設定のテストパターン**を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。	<p>1 リモコンまたはコントロールパネルの自動調整ボタンを押します。</p> <p>2 Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、解像度をフル HD (1920 x 1080) に設定します。</p> <p>a Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、プロパティをクリックして設定タブを選択します。</p> <p>b 外部モニターポートの設定が 1920 x 1080 ピクセルになっていることを確認します。</p> <p>c   (Fn+F8) を押します。</p> <p>解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。</p> <p>Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。</p>
画面にプレゼンテーションが表示されない。	ノートパソコンをお使いの場合は、   (Fn+F8) を押します。
画像が不安定・ちらつく	詳細設定 メニューの OSD 表示設定 でトラッキングを調整します (PC モードのみ)。
画像に縦線が入る。	詳細設定 メニューの OSD 表示設定 で周波数を調整します (PC モードのみ)。
画像の色が不正です	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、詳細設定タブの OSD 画像設定 で信号の種類を RGB に設定してください。 詳細設定メニューの 投写機設定 の テストパターン を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。
画像の焦点が合わない。	<p>1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。</p> <p>2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (3.28 ft [1.0 m] ~ 39.37 ft [12.0 m])。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD の詳細設定メニューの表示設定で縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する。	OSD で 詳細設定 の 投写機設定 を選択し、投影モードを調整します。
ランプが切れた、または、音がする。	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、106 ページの「ランプの交換」を参照してください。</p>
ランプライトがオレンジ色で点灯	ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。
ランプライトがオレンジ色で点滅	<p>ランプのライトがオレンジ色に点滅する場合、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p>LAMP と Power LED がオレンジ色に点滅している場合はランプドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプおよび温度ライトがオレンジ色で点滅し、電源ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>保護モードを消去するには、電源ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>
温度ライトがオレンジ色で点灯	<p>プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™; までお問い合わせください。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
温度ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。電源ボタンを10秒間押し続けることで、投影モードを消去してみてください。5分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell™, までお問い合わせください。
OSDが画面に表示されない。	パネルにあるメニューボタンを15秒間押し続けてOSDのロックを解除します。ページ49のメニューロックを確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。リモコンからのレーザービームが弱過ぎないか点検します。レーザービームが弱い場合は、新しい単4電池2本と交換します。

ガイド信号

プロジェクターの状態	説明	コントロールボタン	インジケータ	
		電源	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクタ。電源を入れる準備ができました。	青色 点滅	オフ	オフ
ウォームアップモード	プロジェクタをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	青色	オフ	オフ
ランプオン	通常モードのプロジェクタ。画像表示の準備ができました。 ☑メモ: OSDメニューにアクセスしていません。	青色	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクタは冷却してシャットダウンします。	青色	オフ	オフ
省電力モード前の冷却	プロジェクタは、省電力モードになる前に60秒間冷却します。	オレンジ色	オフ	オフ
プロジェクタが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が35℃を超えていることが考えられます。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライバが過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ
ファンが故障しています	ファンの1つが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色 点滅	オフ
ランプドライバが故障しています	ランプドライバが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オフ	オレンジ色 点滅
カラーホイールが故障しています	カラーホイールは始動しません。プロジェクタが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクタをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	青色	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅
ランプが故障しています	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オレンジ色
エラー - DC 供給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクタをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オレンジ色	オレンジ色
ランプモジュールの接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色 点滅

ランプの交換

△ 注意：この章で説明する交換処理の前に、ページ 8にある「安全上のご注意」をお読みください。

次のメッセージが表示されたら、ランプを交換してください。
「ランプのフルパワー操作での耐用期間がもうすぐ終了します。交換をお勧めします。www.dell.com/lamps」と画面に表示されます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。詳しくは、「Dell™ へのお問い合わせ」ページ 115 をご覧ください。

△ 注意：オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

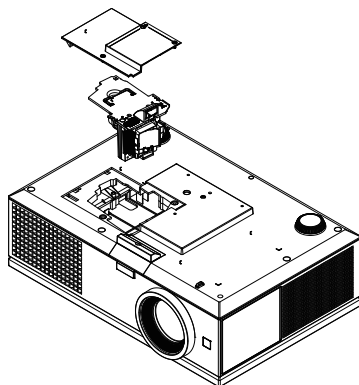
△ 注意：ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

△ 注意：電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

△ 注意：ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは www.dell.com/hg をご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

メモ： Dell™ は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。



- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。
- 9 **詳細設定メニューの OSD パワー設定のランプ時リセットで「はい」を選択してランプ使用時間をリセットします**（ページ 51 の「詳細設定」メニュー

の電力使用設定を参照してください)。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。



注意：ランプの廃棄（米国のみ）

Ⓜ 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、

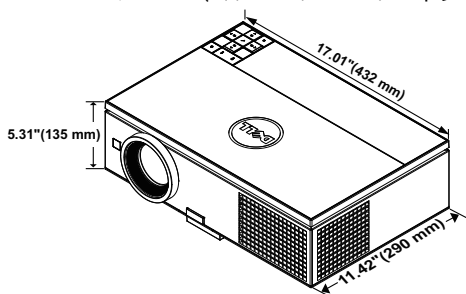
WWW.DELL.COM/HG、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト WWW.EIAE.ORG をご覧ください。

ランプ別の廃棄方法については WWW.LAMPRECYCLE.ORG をご覧ください。

仕様

ライトバルブ	0.95" 1080p DMD、DarkChip2™
明るさ	5000 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	2500:1 (ナチュラル) 10000:1 (動的) 20000:1 (静的)
均質性	85% 標準 (日本規格 - JBMA (日本事務機械工業会))
画素数	1920 x 1080 (1080p)
縦横比	16:9
表示可能な色	10.7 億色 (デザイン時)
カラーホイール速度	2X
投影レンズ	F ストップ : F/2.6 ~ 2.9 焦点距離、f=39.12 ~ 46.94 mm 1.2 倍マニュアルズームレンズ 投影比 = 1.85 ~ 2.22 ワイドおよび望遠 オフセット比 : 115 ± 5%
投影画面サイズ	20.3 ~ 292.9 インチ (対角線)
投影距離	3.28~39.37 ft (1 m ~ 12 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ / S ビデオ : NTSC (J, M, 4.43), PAL (B, D, G, H, I, M, N, Nc, 60), SECAM (B, D, G, K, K1, L) HDMI および コンポーネントビデオ入力 (VGA および YPbPr RCA 経由) : 1080i/p, 720p, 576i/p, 480i/p
電力供給	ユニバーサル AC 100-240 50-60 Hzz、PFC 入力付き

消費電力	通常モード : 525 W ± 10% @ 110 Vac エコモード : 430 W ± 10% @ 110 Vac 省電力モード : <20 W (ワイヤレスとネットワークオン) スタンバイモード : < 0.5 W (ネットワーク、VGA Out およびワイヤレスオフ)
オーディオ ノイズレベル 質量	スピーカー x2、5 W RMS 39 dB(A) ノーマルモード、36 dB(A) エコモード 7.26 kg (16 lb)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	432 x 135 x 290 mm (17.01 x 5.31 x 11.42 インチ)



環境条件	動作温度 : 5 °C ~ 35 °C (41 °F ~ 95 °F) 湿度 : 80 % 最大 保管温度 : 0 °C ~ 60 °C (32 °F ~ 140 °F) 湿度 : 90 % 最大 輸送温度 : -20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F) 湿度 : 90 % 最大
I/O コネクタ	電源 : 1 つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット) VGA 入力 : 2 つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、VGA-A & VGA-B (アナログ RGB/ コンポーネント入力信号用)。 VGA 出力 : 1 つの 15 ピン D-sub コネクタ (黒) (VGA-A ループスルー用)。 コンポーネントビデオ入力 : コンポーネント入力信号用 RCA コネクタ (RGB) x 1 セット。

S ビデオ入力：1 つの標準 4 ピンミニ-DIN
S ビデオコネクタ (Y/C 信号用)。

コンポジットビデオ入力：1 つの黄色 RCA
ジャック (CVBS 信号用)。

HDMI 入力：HDMI 1.3 対応 HDMI コネクタ x
2。HDCP 準拠。

アナログオーディオ入力：1 つの 3.5 mm ステレ
オミニ電話ジャック (青)。

可変オーディオ出力：1 つの 3.5 mm ステレオミ
ニ電話ジャック (緑)。

USB (タイプ A) ポート：写真/PtG ビューア用
USB コネクタ x1 (JPG/PPT 形式)。

USB (タイプ B) ポート：ミニ USB スレブ
(X1) (リモートサポート用)、USB コネクタ
(X1) (USB ディスプレイのサポート用)。

RS232 ポート：RS232 通信用 9 ピン D サブ x 1。

RJ45 ポート：1 つの RJ45 コネクタ (ネットワ
ークと LAN ディスプレイを経由したプロジェクタ
のコントロール用)。

12 V 出力：1 つの 12 V DC / 200 mA 最大。リ
レースループット (自動画面の駆動用)。

ワイヤレスドングル

ワイヤレス標準：IEEE802.11b/g/n

ワイヤレス：ワイヤレスドングルをサポートす
るための 1 つの WiFi USB (タイプ A) コネクタ
(USB インターフェイスはオプションです)

OS 環境：Windows 7/Vista/XP/2000、MAC OS X

サポート：プレゼンテーションスライドとプロ
ジェクタ制御。

同時に 30 人までのユーザーに接続できます。

4-to-1 分割画面。画面に 4 つのプレゼンテ
ーションスライドを投射します。

ユーザ管理モード。

オーディオ投射のサポート (特別なドライバを
インストールする必要性あり)

ビデオストリーミング対応 (最大 720p)

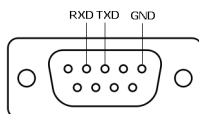
ランプ

Philips 400 ワットユーザ交換可能ランプ (エコ
モードで最大 2000 時間、ノーマルモードで最大
1500 時間)



メモ：プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命はランプサンプル群の50パーセント以上が、指定ランプの定格ルーメンの明るさより約50パーセント減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

RS232 ピン割り当て



¹ RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート	19,200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクタへ)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例: 電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)

--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト

最新の RS232 コードについては、次の Dell Support サイトをごらんください
:support.dell.com

PIP のソースの組み合わせ

	HDMI-A	HDMI-B	VGA-A	VGA-B	コンポーネント
HDMI-A	不可	不可	可	可	可
HDMI-B	不可	不可	可	可	可
VGA-A	可	可	不可	不可	不可
VGA-B	可	可	不可	不可	不可
コンポーネント	可	可	不可	不可	不可
S ビデオ	可	可	不可	不可	不可
コンポジットビデオ	可	可	不可	不可	不可
ワイヤレスディスプレイ	不可	不可	可	可	可
USB ディスプレイ	不可	不可	可	可	可
USB ビューア	不可	不可	可	可	可


	S ビデオ	コンポジットビデオ	ワイヤレスディスプレイ	USB ディスプレイ	USB ビューア
HDMI-A	可	可	不可	不可	不可
HDMI-B	可	可	不可	不可	不可
VGA-A	不可	不可	可	可	可
VGA-B	不可	不可	可	可	可
コンポーネント	不可	不可	可	可	可
S ビデオ	不可	不可	可	可	可
コンポジットビデオ	不可	不可	可	可	可
ワイヤレスディスプレイ	可	可	不可	不可	不可
USB ディスプレイ	可	可	不可	不可	不可
USB ビューア	可	可	不可	不可	不可

互換モード (アナログ/デジタル)

解像度	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480 p60	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
848 x 480	60.000	31.020	33.750
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1152 x 864	75.000	67.500	108.000
1280 x 960	60.000	60.000	108.000
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1152 x 864	85.000	77.095	119.651
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1400 x 1050	74.867	82.278	156.000
1280 x 1024	85.024	91.146	157.000
1440 x 900	84.842	80.430	157.000
1600 x 1200	60.000	75.000	162.000

Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。

 **メモ**：インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell™ では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 support.dell.com をご覧ください。
- 2 ページ下部の**国 / 地域**の**選択**ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
- 3 ページ左側の**連絡先**をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 Dell への連絡方法を選択します。

付録：用語集

ANSI ルーメン— 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

縦横比— 最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

明るさ— ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

色温度— 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

コンポーネントビデオ— 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

コンポジットビデオ— ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

圧縮解像度— 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比— 画像の中の明るい部分と暗い位部分の範囲、または最大および最小値の間の比率を指します。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 フルオン/ オフ完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 ANSI—16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

dB — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。高さ 9ft、幅 12ft の画面の対角線は 15ft です。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

DHCP — 動的ホスト構成プロトコル — サーバを有効にするネットワークプロトコルは TCP/IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

DLP® — Digital Light Processing™ (デジタル光処理) — Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

DMD — Digital Micro-Mirror Device — 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

DNS — ドメイン名システム — ドメイン名を IP アドレスに翻訳するインターネットサービス。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

HDCP — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI、HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel® が開発した仕様です。

HDMI — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース) — HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

Hz (ヘルツ) — 周波数の単位。

IEEE802.11 — ワイヤレス LAN (WLAN) 通信用の標準セット。802.11b/g/n は 2.4 GHz 帯域を使用します。

キーストーン補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最

小距離。

NTSC — National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL — Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転 — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

RGB — Red, Green, Blue (赤、緑、青) — 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

S ビデオ — 4ピンの小型 DIN コネクタを使って、ルミナンス (明るさ、Y) とクロミナンス (色、C) と呼ばれる 2 本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。S ビデオは Y/C とも呼ばれます。

SECAM — ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

SSID — サービスセット ID — ユーザーが接続を希望する特定の無線 LAN を識別するために使用される名前。

SVGA — Super Video Graphics Array (スーパービデオグラフィックスアレイ) — 800 x 600 ピクセル。

SXGA — Super Extended Graphics Array (スーパー拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 1024 ピクセル。

UXGA Ultra Extended Graphics Array (超拡張グラフィックスアレイ) — 1600 x 1200 ピクセル。

VGA — Video Graphics Array — 640 x 480 ピクセルカウント。

WEP — 有線と同等なプライバシー — これは、通信データを暗号化するための方法です。暗号化キーは通信されるユーザーに対してのみ作成され通知されるため、通信データが第三者により復号化されることはありません。

XGA — Extended Video Graphics Array (拡張ビデオグラフィックスアレイ) — 1024 x 768 ピクセル。

WXGA — Wide Extended Graphics Array (ワイド拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 800 ピクセル。

1080p — 1080p とは、1080 本の水平解像度と順次走査を特徴とする HDTV 高画質ビデオモードの省略名であり、1080i ディスプレイ方式と同様、画像がインターレース方式でないことを意味します。

ズームレンズ — 可変式焦点距離のレンズで、操作する側が画像を大きくし

たり、小さくしたりして表示することができます。

ズームレンズ比 — レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの 10 フィート画像が、フルズームでは 14 フィートになることを意味します。

索引

D

Dell への

お問い合わせ 115

Dell へのお問い合わせ 7,
103, 106

お

電話番号 115

オンスクリーンディスプレイ 37

オーディオ入力 40

輝度 / 明度差 39

言語 54

自動調整 38

詳細設定 40

入力ソース 37

入力ソースの多重
ディスプレイ 38

ビデオモード 39

ヘルプ 54

ボリューム 40

こ

コントロールパネル 30

さ

サポート

Dell へのお問い合わせ
115

し

仕様

I/O コネクタ 109

明るさ 108

オーディオ 109

画素数 108

カラーホイール速度
108

環境条件 109

均質性 108

コントラスト比 108

質量 109

消費電力 109

寸法 109

電力供給 108

投影画面サイズ 108

投影距離 108

投影レンズ 108

ノイズレベル 109

ビデオ互換性 108

表示可能な色 108

ライトバルブ 108

せ

接続ポート

+12 V DC アウトコネ
クタ 10

HDMI-A コネクタ 10

HDMI-B コネクタ 10

RJ45 コネクタ 10

RS232 (D サブ) コネク
タ 10

S ビデオコネクタ 10

- USB ディスプレイ用
 - UDB タイプ B コネクタ 10
 - USB ビューア用 UDB タイプ A コネクタ 10
 - VGA-A 出力 (モニターループスルー) コネクタ 10
 - VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ 10
 - VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ 10
 - WiFi USB (タイプ A) コネクタ 10
 - オーディオ出力コネクタ 10
 - オーディオ入力コネクタ 10
 - コンポーネントビデオ入力コネクタ 10
 - コンポジットビデオコネクタ 10
 - セキュリティケーブルスロット 10
 - 電源コードコネクタ 10
 - ミニ USB (Mini Type B) コネクタ (リモコン用) 10
- と
- 投影画像の調整 26
 - エレベーターボタン 26
 - プロジェクタの高さを上げる 26
 - プロジェクタの高さを下げる 26
 - プロジェクタを下げるエレベーターフット 26
 - 傾斜調整ホイール 26
 - トラブルシューティング 101
 - Dell へのお問い合わせ 101
 - ふ
 - プロジェクタのズームとフォーカスの調整 27
 - サイドドア 27
 - ズームリング 27
 - フォーカスリング 27
 - レンズシフトロック 27
 - レンズ垂直シフトノブ 27
 - レンズ水平シフトノブ 27
 - プロジェクタの接続
 - 12 V DC プラグ 23
 - 3RCA-3RCA コンポーネントビデオ (オス - オス) ケーブル 20
 - HDMI ケーブル 21, 22
 - HDMI ケーブルでの接続 21
 - RS232 ケーブルを使っ

- たコンピュータの接続 14, 15
- RS232 (9ピンDサブのメス - メスピン2-3 スワップ) ケーブル 14, 24
- S ビデオケーブルでの接続 17
- S ビデオケーブル 17
- USB - USB ケーブル 12
- USB-A - USB-B ケーブル 15
- VGA - VGA ケーブル 12, 13
- VGA - YPbPr ケーブル 19
- コンピュータへ 12
- コンポーネントケーブルでの接続 19
- コンポジットケーブルでの接続 18
- コンポジットビデオケーブル 18
- 電源コード 12, 13, 14, 15, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24
- 電動式投影画面 23
- プロジェクタの電源を入れる / 切る
 - プロジェクタの電源を入れる 25
 - プロジェクタの電源を切る 25
- ほ
 - 本体 8
 - IR レシーバ 8
 - エレベータボタン(高さ調整用) 8
 - コントロールパネル 8
 - フォーカスタブ 8
 - レンズ 8
 - レンズキャップ 8
 - ら
 - ランプの交換 106
 - り
 - リモコン 32
 - IR レシーバ 31